



事務事業名	イノシシ等鳥獣害防止電気柵事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ イノシシ等の鳥獣による農作物への被害防止を行うことで経営体の強化を図れるので、政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 農業者支援や農業者所得の確保は、農林水産業の振興であって、行政一部に担うことについては妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 県単独事業(鳥獣被害防止事業)の要件を満たさないものを市単独事業で補完しているため、対象・意図の変更は必要ない。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 補助事業の目的以上に成果向上の余地はない。成果向上を行うとすれば、対象地域を拡大し、県の補助事業等を導入し広域で事業を行うことを勧める。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 小規模の対策ではあるが、有害鳥獣の被害防止を怠ることは農業者所得の減少に結びつく。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 中山間直接支払い交付金制度 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 中山間等直接支払制度を導入している地域については、交付金の一部を集落の共同活動経費に充てるため、共同での鳥獣被害防止施設の設置が可能である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 集落または、一団の農地での共同防除を推進し、国・県事業の導入を促進する。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 鳥獣被害の発生地が対象となっているため、平野部に比べて山間地や中山間地の事業導入頻度は高いが、採択要件及び受益者負担の公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・公平性は適切な事業である。鳥獣被害に関しては、その生息地が市町村をまたぎ広範囲であるため、点的な自己防衛策では改善は望めない状況にある。国・県における鳥獣被害防止対策の新たな構築を要望し、広域的な打開策を検討する必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 国県補助事業の導入を検討させるなど、採択要件に合う地域の取りまとめ等を積極的に行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 国県補助の導入は採択要件が多く、現実として事業採択になりにくい。 安易に補助事業を決定するのみでなく、周辺地域の農業従事者と共同し整備計画を策定させることで上位補助の対象にすることが可能となる。																							

No.	520-030	事務事業名	市地方卸売市場施設維持管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農林漁業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 7	87010	地方卸売市場管理事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
生鮮食品等の取引の適正化並びに生産及び流通の円滑化を図り、もって住民等の生活の安定に資するため、霧島市公設地方卸売市場の施設管理を行っている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 59 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		施設	
施設管理事務		施設	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
施設管理事務		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市場を利用する買受人及び生産者		名称	
		単位	
		ア 組合員数(買受人)	
		戸	
		イ 出荷者数	
		戸	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
適正な取引の場を提供し、安心安全な青果物を買受人を通じて地域住民に供給し、生産者の経営の安定と食の安定供給を図る。		名称	
		単位	
		ア 現年度取扱高/前年度取扱高	
		%	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数	
		戸	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	15,815	22,087	23,981	17,730		
		一般財源	千円	-1,164	-2,328	-1,968	-2,145		
	事業費計(A)	千円	14,651	19,759	22,013	15,585			
活動指標		ア 施設	1	1	1	1			
対象指標		ア 戸	148	144	146	148			
		イ 戸	360	349	350	355			
		ウ							
成果指標		ア %	107	92	104	100			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
青果等の適正な取引の場を地域に提供するため、昭和59年に「始良東部地方卸売市場」を設置した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併以前は、構成市町の負担金により「一部事務組合」を設置し管理に当たっていたが、合併に伴い市の一般財源により施設管理を行っている。また、年々取扱量及び取扱高ともに減少傾向にあり、買受人や出荷生産者の数も減少している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
卸売業者からは、近年の流通機構の変化に伴う市場外流通の増大により経営状況は年々厳しくなっており、市場の高い公共性などを勘案し、使用料の更なる減免を検討してほしいとの要望が寄せられている。	

事務事業名	市地方卸売市場施設維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	見直し余地がある【理由】 ↷	結びついている【理由】 ↷ 農業経営の生産流通確保は、出荷生産者の体質強化に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	見直し余地がある【理由】 ↷	妥当である【理由】 ↷ 市が開設者であるため施設管理を行う必要がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	見直し余地がある【理由】 ↷	適切である【理由】 ↷ 市内の生産者が対象であるため、対象を限定・追加する必要はない。意図についても、限定拡充のする必要はなく、妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	向上余地がある【理由】 ↷	向上余地がない【理由】 ↷ 現行の市場管理だけを実施した場合、農業者の高齢化・後継者不足や直売所の建設、産地直送を展開する大型スーパーの出店など、様々な社会情勢の変化や青果物流通機構の変革により、市場の取扱量及び取扱高の向上は困難な状況である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	影響無【理由】 ↷	影響有【その内容】 ↷ 地方卸売市場を閉鎖した場合、大型農家の流通先である市場が遠方になり、運搬コストが上がる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ 加治木市場(近隣施設) 統廃合できる ↷ 連携できる ↷ 統廃合できない ↷ 連携できない ↷ 加治木町に類似する施設があるが、民間が運営する施設であることに加え、市内の農家にとって運搬コストが上昇する。 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷ 指定管理者制度により事務事業を委託することで、経費削減できる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷ 施設管理に係る予算執行等が主な職員の業務であるため、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	見直し余地がある【理由】 ↷	公平・公正である【理由】 ↷ 市内外の生産者が対象であるため、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																																				
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>適切</td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>適切</td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>適切</td> <td>見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>適切</td> <td>見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	適切	見直し余地あり	有効性	適切	見直し余地あり	効率性	適切	見直し余地あり	公平性	適切	見直し余地あり	<p>効率は、市場管理業務を指定管理者制度に移行することによって、おおむね改善される。</p>																								
目的妥当性	適切	見直し余地あり																																			
有効性	適切	見直し余地あり																																			
効率性	適切	見直し余地あり																																			
公平性	適切	見直し余地あり																																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																																				
<table border="1"> <tr> <td>廃止</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業のやり方改善(有効性改善)</td> <td>現状維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>目的再設定</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業のやり方改善(効率性改善)</td> <td>(従来通りで特に改革改善をしない)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統廃合・連携</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>事業のやり方改善(公平性改善)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>&lt;改革改善案&gt; 適切な指定管理者制度への移行を検討する時期である。委託方法の検討を早期に開始する。</p>	廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	現状維持	<input type="checkbox"/>	目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)		事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	現状維持	<input type="checkbox"/>																																	
目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)																																		
事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																																			
		コスト																																			
		削減	維持	増加																																	
成果	向上																																				
	維持			▲																																	
	低下	▲	▲	▲																																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 指定管理者制度への移行については十分な研究が必要である。 卸売業者の存続を含め十分な配慮を行うことまで解決するだけの研究を行う。																																					



事務事業名	米等振興組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 本市の基幹作物である水稻の農業者組織の組織力を強化することで、農業者の所得向上に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 振興組織の育成は、農家所得の向上に繋がるため必要である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 組織の振興事業であり、対象・意図ともに適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 新たな水田農業(多様用途米の生産等)の検討を行なうなど、組織の目的を再設定させるなどすることによって、事業の成果向上の可能性はある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 組織が弱体化し会員減少や水田農業の減退が懸念される。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) これまでの見直しによって小額となっており、これ以上の削減はできない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 組織統合ができないため、人件費の削減はできない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 組織に対する補助であり公平性は保たれている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新たな水田農業(多様用途米の生産等)の検討を行なうなど、組織の目的達成に向けた新たな対策を試みる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 国の水田農業政策の方向性としても、新規需要米・加工用米の生産を強く推進している。当該組織においても、酒造用米・米酢用米等、地域の潜在的な需要を掘り起こし、新たな販路の拡大に努める。																					
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
組織としての情報収集力の高さを活かし、各方面との情報交換や研修から技術や需要の情報を収集する。



事務事業名	野菜価格安定事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	農家が安心して農業に専念できる環境を構築することは、経営体質の強化に結びついている。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	野菜価格の安定は野菜農家の体質強化を図るために重要な課題であり、それらを達成するためにも市の関与は必要である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	振興作目を生産する野菜農家の全てが対象であることから対象は適切である。野菜については価格が安定しにくいことなどから、野菜農家の生産量の増を意図しているため適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	現行の補助事業については、成果以上の向上余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	天候等の不可抗力に左右され、農家が安心して農産物を栽培することができなくなり、離農などに繋がる恐れがある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	県等が定める規定により事業費が決定される。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市内全域の対象野菜を生産する農家を対象としており、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農業経営の安定化のためには適切な事業である。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									



No.	520-070	事務事業名	園芸振興組織育成事業	所属部	農林水産部
				所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興	所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 1	0 6	0 1	82045	農業振興助成事業(市単独)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
園芸振興団体に補助金を交付し、生産拡大・品質向上・産地銘柄の確立などを目的として園芸等振興団体が行う研修会等の活動を支援している。 (市の活動) 園芸振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (園芸等振興会の活動) 生産拡大・品質向上・産地銘柄の確立などを目的とした研修会の開催 【園芸振興団体数】9団体：国分園芸振興会・溝辺地区野菜振興会・横川町園芸振興会・横川町石川里芋振興会・牧園町園芸振興会・霧島町園芸振興会・福山町園芸振興会・隼人園芸振興会・霧島市花卉振興会		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( 不明 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同じ	ア 補助交付団体数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	園芸振興組織会員 <補助金交付先>各園芸等振興団体 <補助対象活動>総会・研修会の開催など	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	研修会を通じて、栽培技術の向上を行う。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	経営体質が強化される。	名称	単位
		ア 園芸振興組織会員	人
		イ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 研修回数	回
		イ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 認定農業者数	戸
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,015	775	787	735		
		事業費計(A)	千円	1,015	775	787	735		
活動指標	ア 団体		13	9	9	9			
対象指標	ア 人		327	273	326	349			
成果指標	ア 回		40	45	55	55			
上位成果指標	ア 戸		300	313	323	321			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 園芸産地の育成を図るため補助事業が開始された。開始年代不明	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 高齢化等により、農家数、栽培面積等は減少傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 当該事業により、先進地研修や各種検討会等、協議会活動が活発に行われてきた経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多数。	

事務事業名	園芸振興組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 農家の栽培技術の向上、経営体質の強化が進められることによって、政策体系に結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 振興組織の育成は産地拡大、消費者への野菜の安定供給といった観点からも必要である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 霧島市内の主たる園芸振興会を対象としており園芸振興が目的となっている為、対象・意図ともに妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 今後伸びるであろうと思われる将来的有望な品目に育成策を集中させるなど目的の再設定を検討すべきと思う。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 事務事業を廃止した場合、農家所得の向上、産地の拡大・育成等に支障がある。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 園芸振興組織自体の統合を進める必要がある。振興会については、合併済みであって統合する必要はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 組織合併等を行うことにより、事業費の削減が見込める。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 組織加入に制限を設けていないため、受益機会は公平である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	研修回数等の増加を提案することによって、事業効果の向上を図る。品目に育成策を集中させるなど有効な手段の方法を再選択する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 全ての関連組織に対しての育成策から、今後伸びるであろうと思われる将来的有望な品目に育成策を集中させるなど手法の検討をする。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
政治的な意見等がある。よって、政治的意見を排除することなど手段の変更を行う。

No.	520-080	事務事業名	果樹生産振興組織育成事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 1	0 6	0 1	82045	農業振興助成事業(市単独)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
生産拡大、品質向上、産地銘柄の確立などを目的とし、本市果樹の振興を図るため、果樹生産振興団体に補助交付する。[園芸団体数]3団体:単人地区果樹部会(みかん・桃)・JAあいら福山地区果樹部会(みかん)・牧園町農協果樹部会(栗) 平成19年度208,000円 平成20年度208,000円 平成21年度188,000円						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( S 62 年度 ~ )</span> <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( 年度 ~ 年度 )</span>	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要と同様		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ア 補助交付団体数	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 果樹振興組織会員 <補助金交付先> 単人地区果樹部会・JAあいら福山地区果樹部会・牧園町農協果樹部会 <補助対象活動>総会・研修会の開催など		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 栽培技術の向上 研修会等の活性化		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 果樹振興組織会員	
		イ 研修会開催	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 現年度研修等の回数/過年度研修会回数	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	296	208	208	188	
事業費計(A)		千円	296	208	208	188		
活動指標		ア 団	3	3	3	3		
対象指標		ア 人	79	74	74	74		
		イ 回	9	10	11	11		
		ウ						
成果指標		ア %		111	110	100		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 果樹産地の育成を図るため補助事業が開始された。 開始年代不明	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 高齢化等により、農家数、栽培面積等は減少傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 当該事業により、先進地研修や各種検討会等、協議会活動が活発に行われてきた経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多数。	

事務事業名	果樹生産振興組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	研修回数等の増加を提案することによって、事業効果の向上を図る。品目に育成策を集中させるなど有効な手段の方法を再選択する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 全ての関連組織に対しての育成策から、今後伸びるであろうと思われる将来的有望な品目に育成策を集中させるなど手法の検討をする。																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
各地区で栽培しやすい果樹もあるために統一が難しい。よって交流を頻行い集中の為の理解を求める。

No.	520-090	事務事業名	市葉たばこ生産振興会運営支援事業				所属部	農林水産部		
							所属課	農政畜産課		
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義		
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G		
	基本事業名	01	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般	01	06	01	82045	事業名	農業振興助成事業(市単独)	法令根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
事業の説明:霧島市葉たばこ生産振興会を対象に運営及び活動に対する補助金を交付する。  福山地域を除く各旧市町単位で活動していた葉たばこ振興会を合併統合し、平成19年度に霧島市葉たばこ生産振興会を設立し、組織の合理化・技術の集約向上を図る。(国分市葉たばこ生産振興会、溝辺町葉たばこ生産振興会、横川町たばこ生産振興会、牧園町たばこ生産振興会、霧島町葉たばこ生産振興会、隼人町葉たばこ生産振興会の6組織が平成19年度に合併)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (          年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (          年度 ~          年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事業概要と同様	ア 補助金交付団体数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		ウ	
霧島市葉たばこ生産振興会員		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
<補助金交付先>霧島市葉たばこ生産振興会		ア 葉たばこ生産振興会員	人
<補助対象活動>総会・研修会の開催など		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	研修会を通じて、栽培技術の向上を行う。	ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	経営体質が強化される。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 研修回数	回
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 認定農業者数	人
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	609	494	494	445	
		事業費計(A)	千円	609	494	494	445	
活動指標		ア 団体	1	1	1	1		
		イ						
		ウ						
対象指標		ア 人	42	33	34	32		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 回	36	38	7	8		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 人	300	313	323	321		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
葉たばこ産地の育成を図るため補助事業が開始された。開始年代不明。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
健康増進方の施行など喫煙をめぐる社会環境の変化に伴う消費量の減少や、耕作者の高齢化の進行等により、年々耕作面積は減少している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
会員から現地研修や各種検討会等、協議会活動が、活発に行なわれてきた経緯もあり、今後も継続してほしいとの意見が多数。	

事務事業名	市葉たばこ生産振興会運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 葉たばこの農業者組織の組織力を強化することで、政策に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 振興組織の育成は産地拡大、農政推進といった観点からも必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を霧島市葉たばこ生産振興会員とし、意図を研修等を通じた技術向上としているため妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 振興会が合併後間もないため現行の組織の強化を図ることで、会員全体の技術向上が図れる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 栽培技術向上のための研修、現地検討会等が活発に行われており、事務事業を廃止した場合、農家所得の向上、葉たばこ産地の拡大・育成等に支障がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似組織はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業主体の運営方法について検討の余地がある。 また、運営全体の補助となっているが、用途を明確にする必要がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 組織加入に制限を設けていないため、受益機会は公平にある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>生産技術の均一化や補助事業の内容を見直すことで、有効性及び効率性を改善できる。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 組織の強化を図りながら活動体制の見直しを行い、より有効的な活動に対し補助金を投入することで、会員全体の生産技術向上を図る。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 近年の厳しい社会情勢にも対応しうる経営感覚に優れた担い手の育成や一層の省力化生産体制を確立するため、関係機関の連携及び振興会組織の強化が急務である。																						

No.	520-100	事務事業名	市茶業振興会運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
合併以前より旧市町ごとに茶の生産者組織である茶業振興会が組織されていたが霧島市の誕生に伴い平成19年3月に、これらの組織を統一して霧島市茶業振興会が発足した。 茶業振興会では、技術講習・先進地研修等を通じ高品質な茶づくりと銘柄のブランド確立を目的に活動している費用の一部補助する事業である。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( 不明 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
霧島市管内の各茶業振興会の運営に対し補助金を交付した。		ア	補助交付団対数
			団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	研修会開催回数
20年度と同様		ウ	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市茶業振興会員		名称	
		単位	
		ア	会員数
		イ	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
技術講習・先進地研修に多くの参加者があり、会員全体の技術向上等を図る。		名称	
		単位	
		ア	研修参加者数/会員数
		イ	%
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
体質が強化される。		名称	
		単位	
		ア	認定農業者数
		イ	戸
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,802	1,332	1,332	1,200		
	事業費計(A)	千円	1,802	1,332	1,332	1,200			
活動指標		ア 団体	7	1	1	1			
		イ 回	2	2	5	8			
		ウ							
対象指標		ア 人	221	221	221	200			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア %	45	50	60	80			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和40年代に茶生産者の技術向上等を目的に各市町・郡・県段階でも生産者団体が設立されたため、運営を助成し始めた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
ペットボトル茶の消費については、順調に推移しているものの主たるリーフ茶の消費量が全国的に低迷している。銘柄確立に向けて霧島市茶業振興会が設立され、全体的な事業として各支部会員理解のもとで全国茶まつりへの取り組みを開始した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
会員は、全国茶品評会で産地賞を獲得することにより知名度の向上・ブランド確立を図ろうとしている。議会においても、霧島市で栽培された農産物のブランド化について意見聴取がなされている。	

事務事業名	市茶業振興会運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 茶の栽培技術の向上を目指し実施する研修会等への参加者が増加することで、体質の強化が図られるので結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 農産物のブランド化は市長マニフェストにも盛り込まれており、生産者だけではなく行政にとっても主要な課題であるため、その活動を茶業振興会が行っていることを考慮すると、市が振興の手段として補助することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 茶のブランド化の中心的な役割を担っているのは茶業振興会であるため対象については妥当である。また、ブランド化のためには技術力のある茶生産者が増える必要があることから意図も妥当。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 茶業振興会の一本化はできたが、活動を支部組織で行っているため技術の向上においては格差等が生じるため、研修の開催方法等を変えさせることによって、振興会会員の技術統一化ができ、全国に向けた茶販売体系の確立が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 他の茶産地に比べた競争力が維持できなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 各品目毎単独運営費補助事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他の作目との協議会運営をひとつにできないために統廃合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 振興会の活動には会員間の交流なども含まれているため、その部分は補助金の用途から外すことで削減余地はある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 現状では市が事務局機能を担っており、生産者やJAなどがこれを担うことが可能であれば、補助金申請から支出に至るまでの事務処理手続きに係る事務時間を削減する事が可能。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市内茶生産者のほぼ全員が会員であるため、受益機会は公平といえる。振興会会員は会費を負担しており、補助金が振興会の運営費全体の14%程度であって他の補助金とも公平性が保たれる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・公平性は適切な事業であるが、有効性においては、会員相互間の技術差の是正や会員による振興会事務局運営など改善課題が残存している。また、効率性においては振興会会員の意識改革を図り、模範的な組織へと育成していくべきである。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 指導機関が連携して組織運営の助言や定期的な技術講習会を開催すると共に、会員相互の技術高位平準化を図る。 組織運営を自力で行える人材の育成を行う必要がある。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現在の組織では、自力の運営はできない可能性が高い。 人材の育成を行うことで振興会運営等本来有るべき姿への導き、組織の自立化を後押しする。																	



No.	520-110	事務事業名	観光農業振興組織育成事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 1	0 6	0 1	82045	農業振興助成事業(市単独)		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
果樹産地育成を図るため、観光果樹の振興及び会員の技術向上を目的とし、市内各観光農園事業主で構成する団体に対して補助金を交付する。 【構成団体数】2団体 【観光農園数】22園 平成18年度96,000円 平成19年度78,000円 平成20年度78,000円 平成21年度71,000円							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( S 62 年度 ~ )</span> <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <span style="margin-left: 20px;">↳ (      年度 ~      年度 )</span>	

1 現状把握の部(DO)																			
(1) 事務事業の目的と指標																			
手段(主な活動)				活動指標(事務事業の活動量を表す指標)															
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要と同様				<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>補助交付団体数</td><td>団体</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>				名称		単位	ア	補助交付団体数	団体	イ			ウ		
名称		単位																	
ア	補助交付団体数	団体																	
イ																			
ウ																			
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様				<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>観光農業振興会会員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>研修等の回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>				名称		単位	ア	観光農業振興会会員数	人	イ	研修等の回数	回	ウ		
名称		単位																	
ア	観光農業振興会会員数	人																	
イ	研修等の回数	回																	
ウ																			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 観光農業振興会会員 <補助金交付先> 国分観光農業振興会・溝辺町観光農園果樹部会 <補助対象活動> 総会・研修会等の開催など				<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>観光農業振興会会員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>研修等の回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>				名称		単位	ア	観光農業振興会会員数	人	イ	研修等の回数	回	ウ		
名称		単位																	
ア	観光農業振興会会員数	人																	
イ	研修等の回数	回																	
ウ																			
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 栽培技術の向上(品質がよくなる、生産量が増える) 研修会活動を活発化する				<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>現年度研修等の回数/過年度研修会回数</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>				名称		単位	ア	現年度研修等の回数/過年度研修会回数	%	イ			ウ		
名称		単位																	
ア	現年度研修等の回数/過年度研修会回数	%																	
イ																			
ウ																			
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。				<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>認定農業者数</td><td>戸</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>				名称		単位	ア	認定農業者数	戸	イ			ウ		
名称		単位																	
ア	認定農業者数	戸																	
イ																			
ウ																			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	96	78	78	71		
	事業費計(A)	千円	96	78	78	71			
活動指標		ア 団体	2	2	2	2			
対象指標		ア 人	22	22	22	22			
		イ 回	10	12	15	15			
成果指標		ア %		120	125	100			
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等							
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 栽培講習会、先進地研修会、販売検討会等を通じ、日々高品質・低コストを目指すため昭和62年・平成元年にそれぞれ組織が設立され、活動に対し補助を同年開始した。							
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 後継者へ経営移譲されていく状況にある。							
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし							

事務事業名	観光農業振興組織育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 市の施策である農家の栽培技術の向上、経営体質の強化、産地育成を行うことで政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 振興組織の育成は産地拡大消費者への果実の安定供給といった観点からも必要である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象を観光農業振興协会会员とし、意図を栽培技術向上しているため変更等を要さず妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 二つの事業主体の統合などによって事業展開を行い、改善を行う必要があり、事業効果を引き上げることは可能である。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 栽培技術向上のための先進地研修、現地検討会等が活発に行われており、事務事業を廃止した場合影響がある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 会員数が増加傾向にあるため、現状維持とする。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 組織加入に制限を設けていないため、受益機会は公平にある。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	振興会の統合を図ることによって、事業効果を向上させる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 組織統合に向けて、事業展開を行う。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 組織統合については現在の組織形態に違いがあり、統一的な動きができない。  
 組織間交流を頻繁に行い、必要性を理解してもらう。

No.	520-120	事務事業名	生活研究グループ育成事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 5	地産地消の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	農業振興助成事業(市単独)	市補助金交付要綱	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
生活改善グループの会員が農山漁村のよりよい生活や働き方を学び、その知識・経験を活かした地産物の農林水産物の加工品開発活動等に対して補助金を交付し、活動の促進を図る。 1団体5支部(国分、隼人、福山、霧島、牧園)会員:総数205名 平成20年度 207千円交付 平成21年度 187千円交付予定							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (      年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		ア	補助対象件数
			件
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様		イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市生活研究グループ連絡協議会会員 <補助金交付先>霧島市生活研究グループ連絡協議会 <補助対象活動>団体の運営(総会・研修会の開催等)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	霧島市生活研究グループ連絡協議会員数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 活動(地産地消)の活発化 食に関するイベント事業の開催増		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	現年度会員数/過年度会員数
			%
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安心・安全な農林産物を地域に供給する		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	地産物の農林産物を積極的に購入している市民の割合
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	336	207	207	187		
	事業費計(A)	千円	336	207	207	187		
活動指標		ア	件	2	1	1	1	
		イ						
		ウ						
対象指標		ア	人	284	218	205	202	
		イ						
		ウ						
成果指標		ア	%		98	94	96	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	%	68.2	59.9	74.3	71.0	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和40~50年代に農山漁村に居住する女性を中心に労働条件の改善や生活環境の向上などを目的に組織が設立され、その活動に対し支援を行っている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
設立当初は、会員自身の生活環境向上が主であったが近年は、食農講座等を実施するなど若年層に対して食文化を伝承するボランティア的な役割も担っている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

事務事業名	生活研究グループ育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 食伝承講座等のイベントを通じた、食・農産物加工のノウハウ(知識・経験)や加工品の紹介活動を支援することは、地産地消の推進に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 食料自給率の低下やフードマイレージ等の観点から、地産地消の推進は市の課題の一つでもあるため、市が関連事業を展開する団体を支援することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 類似の活動を行う団体は他にはなく対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 地域住民に対する技術や加工品の紹介活動をさらに活発化させることで、地域産の食材への関心や理解が深まる余地はある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ グループの運営に支障をきたすため、市内における地産地消の推進活動に関して影響が及ぶ可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 活動内容には自主的に行うべきものも含まれているため、精査することによる削減余地はある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 予算執行が主の事業であって、削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市施策との関連もあり生活研究グループへの公的支援は必要であるが公益性を高める意味でも活動の中心を会員だけを対象としたものから地域住民も参加できる内容へシフトしていく必要がある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業展開を誘導し成果向上を図れるほか、事業費の見直しを行なう必要がある。住民参加型の食育・地産地消の推進を検討し、組織体への補助事業のあり方を廃止を含めて検討する必要がある。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 事業内容を再度確認し、事業費の縮小を図る。 民間市民団体等への支援シフトを行うことで、本事業の廃止を含め検討を行なう。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 対象組織の反発が想定される。 生産者団体等を併せて改革対象とし、事業費の明確な事業のみに支援を行うこと目標とし、公平感を持って補助事業の全面的改革対策を実施する。																	

No.	520-130	事務事業名	市農林技術員連絡会運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0	3	活力ある産業のまちづくり			課長名	富永 克義
	施策名	0	1	農・林・水産業の振興			所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0	1	農業経営体への支援			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	市補助金交付要綱
	一般	0	6	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間	
農林技術員連絡会に対し、補助金を交付し、霧島市の農林水産業の推進を図る。 (会員) JA・森林組合・県・市等の農林業関係機関職員 約250名 (対象活動) 研修等の実施により会員の資質向上を図り業務に反映する。 農産部会・生活部会・林務水産部会・畜産部会・農地部会 (補助金額) 平成20年度468千円 平成21年度468千円予定		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 不明 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要と同様 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市農林技術員連絡会会員 <補助金交付先> 霧島市農林技術員連絡会 <補助対象活動> 協議会の運営(総会・研修会の開催など) 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 会員の資質の向上 連絡会の活動の活発化 結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 補助金交付団体</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 霧島市農林技術員連絡会員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 研修会等の活動</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 研修会等に参加した会員数/会員数</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 認定農業者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 補助金交付団体	団体	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 霧島市農林技術員連絡会員数	人	イ 研修会等の活動	回	ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 研修会等に参加した会員数/会員数	%	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 補助金交付団体	団体																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 霧島市農林技術員連絡会員数	人																																								
イ 研修会等の活動	回																																								
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 研修会等に参加した会員数/会員数	%																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 認定農業者数	戸																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	457	468	468	422		
	事業費計(A)	千円	457	468	468	422			
活動指標		ア 団体	1	1	1	1			
対象指標		ア 人	253	252	230	221			
		イ 回	26	25	25	26			
成果指標		ア %	80	80	85	87			
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 農林業に関する機関の職員の連携と資質向上を目的に昭和40~50年代に各市町村・県単位でも設立され、支援を行うこととなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 構成機関の合理化により職員数が年々削減されてきており、それに伴い技連会への加入者数も減少傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 会員数の減少等により以前に比べ組織の活気が失われつつあるとの意見が関係機関などからある。	

事務事業名	市農林技術員連絡会運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 農業経営体強化のためには、農林水産行政の円滑な推進は市のみでなく関係機関(県・JA等)との連携が不可欠であるため、結びついている。
	<b>公共関与の妥当性</b> <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 技術員連絡会活動、会員の資質向上と連携強化を行うことで農業振興を図るので公共関与するべきところである。
	<b>対象・意図の妥当性</b> <input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は会員で、意図は資質向上であるため対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 農林技術連絡会には農産・林務等の部会が設けられているが活動が十分でない部会も一部見受けられる。積極的に研修会等を実施することによって連携を図ることはもちろんのこと更なる職員員の資質向上も期待できる。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> <input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 事務事業を廃止した場合は、事業費の減少に伴い農林技術連絡会の活動が衰退し関係機関との連携などに影響が及ぶ可能性がある。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> <input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 活動内容には自主的に行うべきものと連携機能の維持に必要な活動が混在しており一部見直しの余地がある。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 組織や部会の再編等により事務効率を改善する余地はある。
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ <b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 受益機会・負担について公平公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 活動が活発でない組織の要因・活動改善が必要である。事務効率や事業の見直しを行なう必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 活動が低迷している部分については、改廃統合を検討する。組織内の連携機能や資質向上に支障が出ない程度に事業費の適正化を行なう必要がある。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下		/	
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			/																		
	低下		/																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特に課題は存在しない。改革改善を実施すべきである。																						

No.	520-140	事務事業名	集落営農活動支援事業			所属部	農林水産部
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり			所属課	農政畜産課
	施策名	01	農・林・水産業の振興			課長名	富永 克義
	基本事業名	03	集落営農の推進			所属G(係)	農政G
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	06	01	03	82060	集落営農育成活動支援事業	特になし
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	

農業従事者の高齢化・後継者不足は年々増加し、担い手のいない農村では農地の荒廃が進行している。集落営農を行うことで、労働力の補完及び低コスト化が図られ「集落の農地は集落で守る」という機運を高めるとともに、集落の話し合いを活性化させることで、住民の意思合意を図り、地域の実状にあった集落営農の組織化を推進する。  
 \* H19年度までの県単事業を引き継ぐ形で実施  
 集落座談会、方針検討会の開催、研修会の実施

単年度のみ  
 単年度繰返 ( H 20 年度 ~ )  
 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
・集落座談会、方針検討会の開催:10回		ア	集落座談会の開催回数
・研修会の実施:1回		イ	アンケート調査件数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	研修会開催回数
・検討会開催:10回		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・研修会の実施:2回		名称	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		単位	
集落(自治会組織)		ア	集落
農業者数		イ	農業者数
農地		ウ	耕地面積
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
集落単位等で組織化(労働力の補完や生産コスト低減化)について合意され、営農がなされる。		名称	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		単位	
集団化により営農規模を維持・拡大する。		ア	集落営農合意形成地区数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	集落営農数
		イ	集落営農面積
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	400	224			
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	410	234	100	120	
事業費計(A)	千円	810	458	100	120			
活動指標		ア	回	8	2	10	4	
		イ	件	533	230	0	0	
		ウ	回	6	3	1	2	
対象指標		ア	集落	533	257	257	257	
		イ	人	5,892	5,892	5,889	5,889	
		ウ	ha	6,500	6,450	6,450	6,450	
成果指標		ア	地区	0	0	1	1	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	団体	4	4	8	9	
		イ	ha	22.3	22.3	22.3	102	
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 平成17年に新たな食料・農業・農村基本計画が閣議決定されたことに伴い、一定要件を満たす担い手(認定農業者及び集落営農組織)へ施策が集中・重点化されることになっており、本市では平成18年度より集落営農育成活動支援事業(県単事業)を導入し、集落営農の組織化に向けた取組を行っている。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 近年、限界集落と呼ばれる集落が増加傾向にある。国における農業施策は、一定要件を満たす担い手へ集中・重点化されるため、小規模農家については集落営農参加しなければ、支援等を受けられない。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 集落からは、集落営農の必要性は理解しているが、組織作りや中長期的な問題をクリアすることが困難であるとの意見がある。

事務事業名	集落営農活動支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>					
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↷	高齡化や後継者不足が進行する集落の農家が組織化(労働力の補完や生産コスト低減化)について合意し、連携して営農することで経営体質が強化されることに結びつく。	
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↷	本市の農業・農村の維持・発展が目的であるため、市及び関係機関が一体となって事業に取り組む必要がある。	
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	市内全域を対象としており、意図については妥当、意図は合意形成地区の増としているため妥当である。	
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↷	より多くの集落が組織化に取り組めるよう支援体制の強化を図り、毎年1地区の集落営農合意形成を目指す。	
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↷	霧島市担い手育成総合支援協議会が行う、担い手アクションサポート事業に移行している。	
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 担い手アクションサポート事業	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	担い手アクションサポート事業に必要な予算化が可能であれば削減余地がある。	
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	霧島市担い手育成総合支援協議会に設置している総合窓口相談員及び、各総合支所の担当職員が連携して事務を行っており、これ以上の削減余地はない。	
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↷	受益機会は全てにあるため適切。	

<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	担い手アクションサポート事業へ統合し事業実施する。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下								
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															



No.	520-150	事務事業名	全国山村振興連盟参画事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	27856	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
山村振興法第7条の規程に基づいて指定された振興山村(昭和25年2月1日時点の旧市町村の区分を単位として指定されています。)地域の市町村及び国会議員、都道府県が会員となり、山村振興関連施策、政策の充実強化を図る活動を実施している。 振興山村市町村は、平成17年10月1日現在で845市町村あり、ほぼ全数の807の市町村が会員となっている。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
						<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 46 年度 ~ )	
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b>		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b>	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 普通会費の均等割(全国連盟分・県支部分)と特別会費の事業割(全国連盟分・県支部分)を連盟の運営に対し負担金を納めている。		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同様		ア 構成市町村	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 全国山村振興連盟 <対象組織> 全国山村振興連盟 <対象活動> 協議会総会・各種事業の実施		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 協議会の適切な運営を図る。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 体質が強化される。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 協議会・研修会	
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 情報収集数	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 認定農業者	
		イ	
		ウ	

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費内訳	財源							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	107	107	55	55		
		事業費計(A)	千円	107	107	55	55		
活動指標		ア 団	807	807	807	807			
対象指標		ア 回	0	0	0	1			
成果指標		ア 回	1	1	1	1			
上位成果指標		ア 人	300	313	323	321			

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 国が、山村振興法第7条の規程に基づいて指定された振興山村に霧島市の旧霧島町全域が指定を受け、昭和46年事業導入を行うにあたり連盟の加入を行った。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	全国山村振興連盟参画事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 山村振興法の趣旨に沿って、振興施策の継続を促し、農業振興等に結びつくため政策体系に結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 公共事業等について衆議院議員等の要望活動と情報提供が主な事業参画の内容なので、関与すべきかどうかは政治的な判断によって決まる。			
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 協議会を対象とし、その協議会運営が適正にされること意図としているが、市が協議会運営を適正化することが適当ではない。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 情報提供等のみであって、成果向上余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 情報提供等がなくなるばかりで、特に必要ではない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 協議会を退会すれば、負担金はなくなる。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 予算執行事務のみであって、削減余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 振興山村指定市町村と国会議員で構成される組織であるので、受益については公平である。ただし、事業内容から見た場合に住民に対するメリットが見出せないために公正であるといえない。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	全ての項目において見直し余地がある。政治的な決断を要し、協会退会の選択肢がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	520-200	事務事業名	担い手アクションサポート事業			所 属 部	農林水産部
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			所 属 課	農政畜産課
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興			課 長 名	富永 克義
	基本事業名	0 1	農林漁業経営体への支援			所 属 G(係)	農政G
						電話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 1	0 2	81090	農業総務費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
農業従事者の高齢化や後継者不足、農業就業人口の減少など、地域農業の担い手不足が顕著化してきている今日、将来にわたり農業生産活動の持続的な発展を図るため、地域の担い手を明確にしながら、認定農業者への誘導や農業経営法人化の推進、集落営農への取り組み支援等、地域農業を担う農業者育成に関係機関・団体と一体的に取り組むことで、望ましい農業構造を確立する。 ・主な支援策 研修会の開催、経営診断・相談会、担い手育成支援、集落営農組織化推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) ・研修会の開催:パソコン簿記講座 25回、農業経営改善研修会 1回 ・経営診断・相談会:相談員による経営支援(相談窓口の設置) ・担い手農家育成支援:経営改善計画作成指導 随時 終期到来者の計画達成状況確認 随時 ・集落営農組織化推進:座談会開催 随時、研修会の実施1回 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度同様 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市担い手農家:認定農業者及び認定志向農業者、高齢化や後継者不足が進行する集落の農家 <補助金交付先>霧島市担い手育成総合支援協議会 <補助対象活動>担い手の確保・育成、集落営農組織化の推進に係る活動 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・地域の中核的農業者(将来の地域農業を支える担い手)となる。 ・組織化(労働力の補完や生産コストの低減化)について合意する。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		名称 単位 ア 補助金交付団体数 団体 イ 補助金額 千円 ウ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 農家 戸 イ 集落 集落 ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 新規認定農業者数 戸 イ 集落営農合意形成(準備導入)地区数 地区 ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 認定農業者数 戸 イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		105	105	457		
	事業費計(A)	千円	0	105	105	457			
活動指標		ア 団体		1	1	1			
		イ 千円		105	105	105			
		ウ							
対象指標		ア 戸		7	11	3			
		イ 集落		1	1	2			
		ウ							
成果指標		ア 戸	17	18	17	7			
		イ 地区	4	4	2	4			
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国は、平成19年度から平成21年度までを農政の集中改革期間と位置づけ、前年度まで県段階に設置されていた地域担い手育成総合支援協議会を市町村段階に設立することになった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
農業就業人口の減少や農業者の高齢化、農業後継者不足が深刻化しており、将来の地域農業を支える担い手や集落営農組織の確保・育成が急務となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
自己の経営改善や組織活動への取組意欲に応じた支援を行って欲しいとの要望が、事業対象者(農業者)から出ている。	

事務事業名	担い手アクションサポート事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2. 評価の部 (SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ 集落営農活動支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 上記事業を統廃合し、主にこの事業で行う。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・効率性・公平性は適切な事業である。対象の絞込みを行い、支援の重点化を行うことで成果の向上を図る。																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					
集落営農組織の育成を図り、農地を集落全体で共有する意識付けが必要となるが、その場合においても、集落におけるリーダーとなり得る農業者(認定農業者)の育成が絶対条件である。 地域における農業生産活動の持続的発展のため、担い手への支援をより強化・重点化し、柔軟性を持たせた支援を行っていく。																					

No.	520-220	事務事業名	農政推進対策協議会運営事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	01	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名		
	一般	06	01	03	5243	農業振興費	法令根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
霧島市農政を総合的に推進するため市長の諮問機関として設置。 組織 協議会は15人以内で組織する。(1)知識経験者(2)関係農業団体の代表者(3)農業生産組織の代表者(4)消費者、食品関連産業の代表者その他地域住民等で市長が適当と認めるもの 任期 2年 主な審議内容 ・農業経営・生産対策に関する事・農業振興地域整備に関する事・その他農政に関する事	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標											
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)										
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要のとおり	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 協議会の開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 協議会の開催回数	回	イ		ウ			
名称	単位										
ア 協議会の開催回数	回										
イ											
ウ											
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 平成20年度と同じ	⇒										
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 協議会委員 協議する案件	<table border="1"> <tr><th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th></tr> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 協議会の委員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 協議案件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 協議会の委員数	人	イ 協議案件数	件	ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)											
名称	単位										
ア 協議会の委員数	人										
イ 協議案件数	件										
ウ											
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農政について意見が述べられる。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th></tr> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 決定された案件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ 会議の出席率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 決定された案件数	件	イ 会議の出席率	%	ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)											
名称	単位										
ア 決定された案件数	件										
イ 会議の出席率	%										
ウ											
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th></tr> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 認定農業者</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 認定農業者	人	イ		ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)											
名称	単位										
ア 認定農業者	人										
イ											
ウ											

(2) 総事業費・指標等の推移	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投資量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	118	73	170	509	
		事業費計(A)	千円	118	73	170	509	
活動指標	ア 回		2	1	2	4		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人		15	15	15	15		
	イ 件		2	1	3	4		
	ウ							
成果指標	ア 件		2	1	3	4		
	イ %		93	93	87	100		
	ウ							
上位成果指標	ア 人		300	313	323	321		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 霧島市の農政について、農業関係者以外の者も交え協議することで、広い視野での議論が行なえる。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 案件について、これまで農業振興地域整備計画に係る案件が主だったが、新たに農業へ参入しようとする者の支援策等について協議がなされるようになった。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし

事務事業名	農政推進対策協議会運営事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 協議会を開催して農業以外の意見を交えることは、農業行政運営の透明性を確保することにつながり、政策体系に結びついている			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市の農業行政の方向性や後継者育成の協議、また、農業振興地域整備計画の策定など市が行うことは妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 農業者以外の者も委員に加え協議しており、対象・意図とも妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 目的としての成果は上がっており、特別に成果向上の余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 農業振興地域整備計画の変更など、霧島市農業政策を決定する会議であるため廃止はできない。廃止することは、農業行政の透明性の確保や運営に支障をきたすことになる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 農業振興地域整備計画の変更や農業後継者の育成支援策等を決定する会議であり、農政において類似する会議はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は、委員の報酬(会長5,500円、委員5,100円)のみであるため削減の余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 業務内容は主に資料作成であり人件費の削減余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 農業者以外の者も委員に加え協議しており、受益者負担は公平である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であり、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	520-250	事務事業名	農業関係資金利子補給事業	所属部	農林水産部
				所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興	所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 1	0 3	82040	農業振興助成事業(利子補給)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)			事業期間	
農業近代化資金利子補給金 農業経営基盤強化資金利子助成金 農業振興資金利子助成金を3つの利子補給制度によって、借受者に対し利子助成金を交付して、農家の資金調達を容易にする。 実施主体 国県市 事業対象 農業者全般 認定農業者 農業者全般(17年3月借入分まで・17年度利子助成廃止) 補助率 は金利変動に伴い変動 今後実績なし			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 43 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (     年度 ~     年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 利子補給実績 農業近代化資金利子助成 上期108件 3,965,775 円 下期103件 3,664,907円 農業経営基盤強化資金利子補給 11件 614,038円 農業振興資金利子補給 5件 303,231円 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度借入れ実績と先の借入れ実績による。 予定10,150千円 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 農業者(認定農業者) 交付先 農業者・融資金融機関(代理申請者) 活動対象 農業施設の近代化を図る際に借入を行い、償還が適切にされる。 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要資金を融資(利子補給)することにより、農業経営の安定を図る。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>利子補給額</td><td>円</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>農家個数</td><td>戸</td></tr> <tr><td>イ</td><td>借入実施件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>現年度借入件数 / 前年度借入件数</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td>現年度借入実行額 / 前年度借入実行額</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>認定農業者数</td><td>戸</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	ア	利子補給額	円	イ			ウ			対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	ア	農家個数	戸	イ	借入実施件数	件	ウ			成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位	ア	現年度借入件数 / 前年度借入件数	%	イ	現年度借入実行額 / 前年度借入実行額	%	ウ			上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位	ア	認定農業者数	戸	イ			ウ		
名称		単位																																																	
ア	利子補給額	円																																																	
イ																																																			
ウ																																																			
対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位																																																	
ア	農家個数	戸																																																	
イ	借入実施件数	件																																																	
ウ																																																			
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位																																																	
ア	現年度借入件数 / 前年度借入件数	%																																																	
イ	現年度借入実行額 / 前年度借入実行額	%																																																	
ウ																																																			
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位																																																	
ア	認定農業者数	戸																																																	
イ																																																			
ウ																																																			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	537	452	610	834		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	8,742	9,008	9,098	9,316		
	事業費計(A)	千円	9,279	9,460	9,708	10,150			
活動指標		ア 円	9,278,448	9,459,323	8,547,951	10,149,226			
対象指標		ア 戸	5,889	5,889	5,889	5,889			
		イ 件	145	160	124	184			
成果指標		ア %	88	43	75	120			
		イ %	41	38	64	200			
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 国県の制度の実施に伴い昭和43年から、支援を行うこととなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成19年から3年間農業近代化資金は、認定農業者で500万円以上に関する部分は、国が無利子化を図ったので、市の利子助成は無くなった。農業経営基盤強化資金利子助成については新たに利子助成が開始された。農業者も用途に応じた低利な資金を利用している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし	

事務事業名	農業関係資金利子補給事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資金調達を容易にすることによって、農業経営の安定が図られ経営体質の強化がされるため政策体系に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 農業は生活の安定確保をする上で、最も基本的な産業であることから、生産性の高い魅力ある資金制度を推進し、資金面で農業担い手を支援することは妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 農業近代化資金法及び霧島市農業近代化資金利子補給金交付規程・霧島市農業経営基盤強化資金利子助成金交付要綱・霧島市農業経営基盤強化資金制度実施要領に基づき実施しているので適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 農業者の借り入れを容易にする制度であって、継続していればPR等が成果も向上するが、現状ではその方法がない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 利子補給、助成が無くなると農業者の負担が大きくなり、経営規模の拡大、生産性の向上や経営改善が進まないと考えられる。現在の利用者には、融資機関との契約があることから、利子補給を廃止することは出来ない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在の利用者に対しては、融資機関との契約があることから、事業費の削減は困難である。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 国・県の制度に関連した事業であり、利子補給事務も決められた一連の事務で削減できない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 国・県・市借受者とも応分の負担をしている。また市の利子補給対象がある時点での対象は、一定要件を満たす全ての農業者を対象とするので公平公正である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	経営改善等に有効な事業であり、目的・有効性・効率性・公平性は適切であって、現状維持とする。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし



No.	520-260	事務事業名	農業経営振興資金貸付基金事業				所属部	農林水産部	
							所属課	農政畜産課	
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義	
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ	
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111	
予算科目	会計	一般	0 6	0 1	0 3	82090	事業名	農業振興費	法令根拠

**事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)**

霧島市に居住する60歳以下の農業を営む者及び営もうとする者が、農業の経営の合理化並びに近代化を進めるための施設等の設置及び改善に必要な資金・生産資材の購入その他経営振興上特に必要な資金・災害復旧に必要な資金・農業後継者が経営の改善、規模拡大等を行うに必要な資金・新規就農者が経営開始に必要な資金に対し、貸付限度額を事業計画の80%以内で最高300万円とし、貸付利率は年1%(農業後継者(満35歳以下)及び新規就農者の資金の場合は無利子)、貸付期間は8年以内(据置期間3年以内(農業後継者(満35歳以下)及び新規就農者の資金の場合は2年間)、償還方法は一括償還又は5年以内の分割(農業後継者(満35歳以下)及び新規就農者の資金の場合は6年以内)で貸付を行う事業

**事業期間**

単年度のみ

単年度繰返  
↳ ( H 17 年度 ~ )

期間限定複数年度  
↳ ( 年度 ~ 年度 )

**1 現状把握の部(DO)**

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b>		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b>	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 貸付利息・定期預金の利息分に端数を継ぎ足し基金へ繰入れた。		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同じ		ア 借入実施件数	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 60歳以下の農業を営む者及び営もうとする者		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業経営の安定を図る。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 農業従事者	
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 現年度利用者/農業従事者数	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数	
		イ	
		ウ	

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	25	184	208	113		
事業費計(A)		千円	25	184	208	113			
活動指標		ア 件	5	1	3	10			
対象指標		ア 人	6,444	6,444	6,444	6,444			
成果指標		ア %	0.08	0.02	0.05	0.16			
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
合併前に旧福山町で行っていた事業で、合併後は全市で行えるようになったもの。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
特になし

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
特になし

事務事業名	農業経営振興資金貸付基金事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 本市の農業を振興し、農家が経営規模の拡大及び経営改善を図るために必要な資金を貸し付けるため、経営体質の強化され政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 農業は生活の安定確保をする上で、最も基本的な産業であることから、資金面で農業を支援することは妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は、全農業者が利用されることもあり経営安定を意図しているので適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 利用状況については、意図的に向上させられない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 経営規模の拡大、生産性の向上や経営改善が進まなくなる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 農家の意欲をなくすことになるので削減できない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 予算執行等の事務のみであって、削減の余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 貸付決定は、霧島市金融運営協議会で協議し決定するので適切である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	基金運営に伴う発生利子相当額にての事業であり適切である。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	520-270	事務事業名	農業後継者組織等育成事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	農業振興助成事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
若い担い手等の育成を図るために、農業後継者組織等の研修・講演会・視察研修等を実施するための活動の助成を行う。 市の活動は、組織に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 [交付団体] 高原クラブ(霧島)・自営青年クラブ(隼人)・大地クラブ(福山) コスモスクラブ(はやと)・ほぼづえ会(横川)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (           年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (           年度 ~           年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア 補助交付団体	
		イ	
		ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
20年度と同様		名称	
		単位	
		ア 新規就農者数	
		イ 担い手農家数	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
新規就農者、担い手農家		名称	
< 補助金交付先 > 交付先5団体		単位	
< 補助対象活動 > 総会・研修会の開催など		ア 事業参加農業後継者	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
地域の農業を担う後継者等が会員相互の交流を図り、地域農業の振興に貢献する。能力のある農業後継者を育成することで、新規就農者の意欲向上を助長する。		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)			
経営体質が強化される。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	221	192	192	174		
	事業費計(A)	千円	221	192	192	174			

活動指標	ア	団体	5	5	5	5		
	イ							
対象指標	ア	人	17	15	15	15		
	イ	人	420	424	430	437		
	ウ							
成果指標	ア	人	54	56	58	62		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	戸	300	313	314	321		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
魅力ある農業経営を目指すために農業後継者同志が団結し、相互の意識・技術の向上を図るため、旧市町より引き継いでいる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
近年、農業従事者の高齢化・後継者不足により農業構造の脆弱化が懸念されていることから、新規就農者・農業後継者の育成・確保が重要視されている。また、5年前と比較して、新規就農者数は増加している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
新規就農者・農業後継者等の育成は地域農業の発展を図る為にも重要な課題であり、今後も引き続き支援が必要である。(議会)	

事務事業名	農業後継者組織等育成事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ 地域の特性を活かし環境とも調和した持続性の高い農業を推進するとともに、経営安定と効率的経営を図るため各生産者団体において、研修・講習会、視察研修等を実施するための活動への助成を行うことは、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びつく
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ 農業後継者育成・確保は、市においての重要課題となっていることや各組織において研修・講習会、研修視察等を実施していることにより妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 活動が活発な後継者組織を対象としており、対象・意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 性質の類似する組織を統合することで、会員相互の交流が広がり、更に活動が活発化する可能性がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 経営改善等さまざまな技術習得の機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 団体の一本化が図れば事業費の削減は可能。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 団体の統合が出来れば、事務処理手続き等が軽減されるので、業務時間については削減できる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 受益機会については、組織に加入することで全ての関係農業者にあることから公平公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業統合を行なう必要がある。 事業統合を行うことで、事業費の削減等が可能である。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 総括での事業改善を実施する。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 経営品目により余暇時間等のずれがある。 研修や交流の必要性をまずは会員に理解してもらう。																							

No.	520-280	事務事業名	溝辺ふるさと祭り運営支援事業			所属部	溝辺総合支所
						所属課	産業建設課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			課長名	浜田 健治
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興			所属G(係)	農政畜産G
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援			電話番号	59-3111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 1	0 3	82055	農業祭関連事業	

<b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b> 溝辺地域における一大イベントとして住民から親しまれ、農畜林産物の展示・販売、郷土芸能・文化発表による伝統芸能の伝承等、住民自らが地域の良さを再認識することで活力ある地域づくりを目指す。 また、地域内外に向けて情報発信することで、農畜林産物の産地化を図るとともに、関係機関・団体(市、教育委員会、農協、文化協会、商工会等)と住民が一体となり、魅力ある農村社会を創造する。 ・開催日:毎年11月3日(文化の日) ・開催場所:霧島市溝辺町麓地内 上床公園一帯	<b>事業期間</b> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 57 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )
--	---

1 現状把握の部(DO)

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b>																																	
<b>手段(主な活動)</b> 20年度実績(20年度に行った主な活動) ・農畜林産物の販売促進(農畜産物のPR・販売) ・郷土芸能・文化発表 ・農業者団体による球技大会  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度に同じ。  <b>対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等</b> 市民及び市外からの来客者 <補助金交付先> 霧島市溝辺ふるさと祭り実行委員会 <補助対象活動> 霧島市溝辺ふるさと祭りの運営費  <b>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)</b> ・農畜林産物の情報発信を行うことで、作目毎の産地化を図る。  <b>結果(どんな結果に結び付けるのか)</b> 経営体質が強化される。	<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア イベントの開催数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 来場者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ 参加者数(出店・出品・芸能発表者数)</td><td>人</td></tr> </table> <b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 来場者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> <b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 現年度来場者数 / 前年度来場者数</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ 参加者数 / 来場者数</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> <b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 認定農業者数</td><td>戸</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア イベントの開催数	回	イ 来場者数	人	ウ 参加者数(出店・出品・芸能発表者数)	人	名称	単位	ア 来場者数	人	イ		ウ		名称	単位	ア 現年度来場者数 / 前年度来場者数	%	イ 参加者数 / 来場者数	%	ウ		名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
名称	単位																																
ア イベントの開催数	回																																
イ 来場者数	人																																
ウ 参加者数(出店・出品・芸能発表者数)	人																																
名称	単位																																
ア 来場者数	人																																
イ																																	
ウ																																	
名称	単位																																
ア 現年度来場者数 / 前年度来場者数	%																																
イ 参加者数 / 来場者数	%																																
ウ																																	
名称	単位																																
ア 認定農業者数	戸																																
イ																																	
ウ																																	

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	852	800	760	684		
事業費計(A)		千円	852	800	760	684			
活動指標		ア 回	1	1	1	1			
		イ 人	2,850	2,900	3,000	3,200			
		ウ 人	800	820	850	870			
対象指標		ア 人	2,850	2,900	3,000	3,200			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア %	101.8%	101.8%	103.4%	106.7%			
		イ %	28.1%	28.3%	28.3%	27.2%			
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 旧溝辺町時代からの継続事業。昭和57年に第1回ふるさと祭りを開催。平成20年度で第27回。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 情報発信の成果もあり、地区外からも多数の来場者がある。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 合併を機に、昔からある地域文化のひとつが消えてしまうことに市民が懸念を感じている。今後も存続を希望する声が多い。

事務事業名	溝辺ふるさと祭り運営支援事業	所属部	溝辺総合支所	所属課	産業建設課
-------	----------------	-----	--------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 農畜林産物の情報発信源として事業を行うことで作目毎の産地化が図られ経営体質強化に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 地域農業者の意欲向上のために、市、関係機関及び市民が一体となって取り組む必要がある。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 溝辺地区はもとより、市内外にも広く周知されており、対象・意図の変更は必要ない。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 組織の統廃合や予算減少により事業規模も縮小しているが、実行委員会を中心に、適宜事業内容の見直しを行うなど、自主努力もしている。 また、実行委員会だけでなく、地域農業者団体等の協力も得ながら事業運営がなされており、今後も一定の成果が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 地域市民には生きがいとコミュニケーションの場として古くから親しまれており、歴史と伝統の証でもある。事業廃止により直接的な影響はないと考えられるが、相対的な地域の活力は衰退すると思われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市内各地で開催される類似事業と統廃合若しくは連携し各地区持ち回りで開催するなど、検討の余地もある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費内で最大限の創意工夫がなされており、削除余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 実行委員会は、市をはじめとする9つの関係団体から構成されているが、事業の企画立案から運営、予算差引等、事業に係る事務はその大部分を市が担っている。 地域まちづくりという事業目的からも、今後は、実行委員会の構成員に市民も参画し、将来的には、地域住民自らが事業の企画立案、運営を行えるよう誘導する必要がある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 溝辺地区を問わず、市内各地、市外からも多数の来場者があり、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後、類似事業との統合を検討する。																			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上																			
	維持 低下																			
<改革改善案> ・関係機関・団体と住民が一体となり取り組むことで、少ない予算で効率的な事業展開を図る。 ・地域毎の事業展開も必要であるが、類似事業と統合または連携することで、より効率的に対外的PRが可能である。																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・市を中心とした実行委員会組織を、早い段階で地域住民を含めた組織とし、住民主体の事業へと移行を図る。 ・当事業に対する地域住民の思い入れが強く、早い段階での統合に対しては難色を示されることが否めない。従って、既に各地域を統合し、一本化を進めている農業者団体を中心に事業を展開(企画・運営)することで、事業の統合・連携に対しての違和感を払拭できる。																				

No.	520-290	事務事業名	農業専門指導員設置事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 1	農林漁業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82090	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市管内における農家を中心に、経営指導や営農相談に応じる農業専門指導員を設置し、農畜産物の産地強化や農業経営体の育成強化に努め、本市農業の振興を図る。 [指導員設置数] ・農政専門指導員 2名 ・畜産専門指導員 1名 [主な活動] 農家への巡回指導 営農相談の対応							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( 不明 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 農家の営農指導及び巡回指導 営農相談の対応		ア	農家巡回日数
			日
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同様		イ	営農相談件数
			件
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内の農家 新規就農者や後継者		ウ	
		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	農家数
			戸
		イ	新規就農相談者数
			戸
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生産農家の技術の向上 新規就農者や後継者の確保		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	農業粗生産額
			千円
		イ	農家戸数
			戸
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質の強化		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	認定農業者数
			戸
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	5,914	6,445	6,464	6,506	
		事業費計(A)	千円	5,914	6,445	6,464	6,506	
活動指標		ア	日	360	540	540	540	
		イ	件	260	468	470	470	
		ウ						
対象指標		ア	戸	5,892	5,892	5,892	5,892	
		イ	戸	7	9	15	17	
		ウ						
成果指標		ア	千円	19,710,000		19,700,000	19,700,000	
		イ	戸	5,889	5,892	5,892	5,880	
		ウ						
上位成果指標		ア	戸	300	313	323	321	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 多様化・高度化する農業生産技術や産地形成に的確に対応するため、高度な技術、専門的な知識を有する指導員を昭和の時代に設置をした。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 農協営農指導員や県普及指導員が大幅に人員削減されていることで、市専門指導員の活動範囲や重要性も大きくなっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 営農指導対象者から専門的な技術を有することなどから、今後も引き続き設置が望まれている。	

事務事業名	農業専門指導員設置事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 農家の技術・営農指導を定期的に行うことで、安定的な農業経営の確保に努めることで、農業者の体質強化になり、政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 農協営農指導員及び県普及指導員の減少により、市専門指導員の設置が重要視されている。また、販売流通が多角化していることで、農協営農指導員の手の届かない(農協出荷以外)の農家への指導も増えていることから、市専門指導員の設置は必要不可欠である。他地域に勝ち得る強い園芸産地を形成するためにも専門知識を有する市専門指導員の設置は必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 指導巡回が市内全域に行き渡るよう活動範囲を担当割しているため、対象の限定・追加は不要である。また、農産物の産地強化及び農業経営の安定を図るためであることから意図は適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 農協営農指導員及び県普及指導員と連携を図り、円滑で効果的な指導が出来るよう調整を図る。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 生産技術の低下や園芸産地の脆弱化、新規就農者の指導不足により将来の本市農業の減退は避けられない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 霧島市担い手育成総合支援協議会の担い手相談員や県担い手育成推進マネージャー <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 霧島市担い手育成総合支援協議会の担い手相談員や県担い手育成推進マネージャーとの連携により、集落営農推進や新規就農相談、経営指導など専門業務を分担または、連携して行える。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 農協営農指導員や県普及指導員の巡回指導はこれまで以上に手薄になることが必至であり、人員の削減は考えられない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事務は、予算執行のみである。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市内の全農家が対象となっていることにより、公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・効率性・公平性は、適切な事業である。有効性については、年間指導計画等、計画に基づく巡回指導の実施や重点指導農家やグループなどの的確な位置付けによる効率的で有効な指導の実践に当らせる必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 事務事業の削減と外勤活動の支援																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
設置目的の再認識と必要性の堅持。活動範囲が広域となることから、移動に相当な時間を要するため、事務所を分散した人員配置も検討する必要がある。																							



No.	520-300	事務事業名	畜産施設維持管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠 霧島市家畜審査場の設置及び管理に関する条例 霧島市国分畜産研修センターの設置及び管理に関する条例	
	一般	0 6	0 1	0 4	83020	畜産施設維持管理事業		
		0 6	0 1	0 4	83080	しみん学習支援公社経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
畜産農家に研修の機会及び親睦の場を与え、畜産振興を図るため施設を設置している。また、地域住民のコミュニティ活動と憩いの場として、住民の交流と福祉向上に寄与する施設(家畜審査場、国分畜産研修センター)の施設維持管理に係る業務である。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
						<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ )	
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 施設維持に係る光熱水費、施設の保険、指定管理委託料など		ア	費用額
			円
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 施設維持に係る光熱水費、施設の保険、指定管理委託料、修繕費		イ	修繕回数
			回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 畜産研修施設		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	施設数
			箇所
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設が畜産農家にとって使用に最適な管理がされる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	苦情件数
			回
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	認定農業者数
			戸

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円				10	
		一般財源	千円	2,727	597	2,642	2,424	
	事業費計(A)	千円	2,727	597	2,642	2,434		
活動指標		ア 円	2,727	597	2,642	2,437		
		イ 回	2	1	2	3		
		ウ						
対象指標		ア 箇所	5	5	5	5		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 回	5	2	2	2		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 畜産農家に研修の機会及び親睦の場を与え、畜産振興を図るため施設が設置された。また、地域住民のコミュニティ活動と憩いの場として、住民の交流にも活用されている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 共進会や研修会等を開催し、畜産農家の意識、技術も向上してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 畜産農家の方より畜産審査場の設置により、共進会、研修会等の開催が出来るので喜ばれている。	

事務事業名	畜産施設維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	畜産農家に研修の機会及び親睦の場を与え、畜産振興を図れることより、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	畜産農家に研修の機会及び親睦の場、畜産振興を図るための公共施設であることから管理すべきである。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	畜産農家全戸が対象となる施設で、適切な管理が意図であるので、対象意図ともに妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	施設の維持管理に係るものであり向上の余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	施設利用(共進会、研修会、検査等)は継続し実施されるので影響がある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	施設の老朽化が進んでいることから改修等の増加は見込まれるが、削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	管理事務であって、一部指定管理者制度を導入するなどしており、削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市内の畜産農家全戸が対象となっているので公平である。また、市の施設として設置されている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)   (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	520-310	事務事業名	縣市畜産共進会開催事業				所属部	農林水産部
			政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり	所属課	農政畜産課
				施策名	01	農・林・水産業の振興	課長名	富永 克義
		基本事業名	01	農林業経営体への支援	所属G(係)	畜産グループ	電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	06	01	04	83090	畜産共進会出品補助事業		

<b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b> 霧島市主催の霧島市秋季畜産共進会は出品することにより飼育管理技術研修と資質の向上を図ることを目的とする。春・秋郡畜産共進会は霧島市の代表として選抜された牛を出品する。県畜産共進会は郡の代表として出品する。霧島市主催の霧島市秋季畜産共進会(一頭当たり5,000円)春・秋郡畜産共進会(一頭当たり20,000円)県畜産共進会(一頭当たり100,000円)へ出品するための輸送代等の経費として補助金を交付する。	<b>事業期間</b> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )
---	--

1 現状把握の部(DO)

**(1) 事務事業の目的と指標**

手段(主な活動)

20年度実績(20年度に行った主な活動)  
件数 342件  
金額 4,480,000円

21年度計画(21年度に計画している主な活動)  
補助金件数 133件 金額 5,080,000円  
報償費件数 295件 金額 895,000円

対象(誰、何を対象にしているのか) \*人や自然資源等  
肉用牛農家、乳用牛農家

意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)  
共進会に出品することで、飼育管理技術研修・畜産振興・生産素性を検討し、系統作りに役立ち、経営の安定に繋げる。

結果(どんな結果に結び付けるのか)  
経営体質が強化される。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 補助交付農家	戸
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 肉用牛・酪農家	戸
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 出品頭数	頭
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 認定農業者数	戸
イ	
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,790	4,270	4,480	6,208		
	事業費計(A)	千円	3,790	4,270	4,480	6,208			
活動指標	ア	戸	280	261	342	342			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	戸	951	889	850	802			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	頭	312	290	295	280			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	戸	300	313	323	321			
	イ								
	ウ								

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
各共進会に出品することで飼育管理技術研修と資質向上を目指し、又、系統作りのため始まった。開始年度不明

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
飼育管理技術が向上し、共進会出品牛の資質向上が図られている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
各共進会が情報交換の場でもあり、継続して本事業を継続してほしい意見多数あり。(肉用牛農家)

事務事業名	県市畜産共進会開催事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 飼育管理技術研修と家畜の資質の向上を図ることを目的とした、市・始良地区・県の各種共進会出品者に助成を行うことは、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市・始良地区・県の各種共進会に出品助成を行うことは、肉用牛農家・乳用牛農家の飼育管理技術と資質向上に繋がるため妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 肉用牛農家・乳用牛農家が対象であって妥当である。意図は畜産農家の経営の安定であるため適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 系統作りに役立つ成果が上がるが、それ以上の成果向上はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 各種共進会に出品する肉用牛農家・乳用牛農家が減少し、飼育管理技術研修や家畜の資質向上が図られなくなる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 各種共進会に出品するための必要経費(輸送代・燃料代)のため削減余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助交付事務のみであって、削減余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 全ての肉用牛農家・乳用牛農家が対象であって、公平である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	520-320	事務事業名	パドック付ドーム型牛舎整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令
	一般	0 6	0 1	0 4	83017	パドック付ドーム型牛舎整備事業	根拠

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
家畜排せつの管理を適正にするために、パドック付ドーム型牛舎の整備費に係る経費への一部補助をする。 前提条件：整備後3年以内に繁殖牛10頭以上を飼養することが確実なもの。パドック等を備えた構造のドーム型牛舎でコンクリート等を使用し、側壁を設け、屋根は、家畜排せつ物を乾燥しやすくするため採光のできる屋根材(ポリカーボネート等)を使用する。パドックの面積は1頭当たり10㎡以上とする。 補助金算定の考え方：補助金の額は、パドック1㎡当たり5,000円とし、交付限度額は150万とする。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
件数 8件		ア 補助交付農家	件
金額 9,430,000円		イ 補助交付金額	千円
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
件数 6件		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
金額 9,000,000円		名称	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		単位	
畜産農家(肉用牛繁殖)		ア 肉用牛農家	
【補助交付先】パドック付ドーム型牛舎を建築する畜産農家		イ	
【補助対象活動】パドック付ドーム型牛舎の建築		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
環境保全農業の確立、労力の軽減、作業の効率化、生産性向上に繋げる。		名称	
		単位	
		ア 整備面積	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。		名称	
		単位	
		ア 認定農業者数	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	11,677	9,876	9,430	9,000	
事業費計(A)		千円	11,677	9,876	9,430	9,000		
活動指標		ア 件	10	7	9	6		
		イ 千円	11,677	9,876	9,430	9,000		
		ウ						
対象指標		ア 戸	981	933	850	827		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア ㎡	3,359	2,001	2,174	1,800		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
パドック付ドーム型牛舎を整備することにより、家畜糞尿の適正な処理をすることを目的に開始する。平成18年4月から事業開始	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
環境保全対策に役立ち、作業効率も省力化されることで、畜産農家の意識も非常に高まっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
パドック付ドーム型牛舎整備することにより、作業効率も省力化され、飼育管理も行き届くため、事業交付者から事業拡大の要望が多数寄せられている。	

事務事業名	パドック付ドーム型牛舎整備事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? パドック付ドーム型牛舎を整備することにより、環境保全対策を行うことで、作業能率も省力化され、経営の安定・合理化も図られるために、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? パドック付ドーム型牛舎を整備することで、作業能率も省力化され、経営の安定・合理化も図られる。低コスト化を推進しているため妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 市内で畜産業に積極的に取り組み、整備後3年以内に繁殖牛10頭以上を飼養することが確実な者を補助対象としているので妥当である。また、意図は、環境保全対策の確立、労力軽減、作業の効率化、生産性向上であるため適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? パドック付ドーム型牛舎を整備することで、作業能率も省力化され、経営の安定・合理化も図られる。低コスト化も図られるが、それ以上に成果向上の余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 規模拡大をしようとする農家の決断が鈍る。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 過去に事業実施した畜産農家との公平感から、補助単価等の削減はできない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 補助金交付事務であって、削減の余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市内で畜産業に積極的に取り組み、整備後3年以内に繁殖牛10頭以上を飼養することが確実な者を補助対象としているので公平である。受益者負担の一部を補助するので、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正な事業であり、現状維持とする。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)   (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	520-360	事務 事業名	家畜導入及び保留補助事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策 体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	
	一般	0 6	0 1	0 4	83015	家畜導入及び保留補助事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
肉用牛経営の安定向上と主産地化を図るため、優良肉用牛を保留・導入する農家に対して補助金を交付する。 条件: 5年以上継続飼養すること 地区共進会に出品すること。 算定基礎: 郡保留牛又は高育種価候補牛に選定された牛(自家保留牛及びセリ市本人牛を含む。)20,000円導入牛はセリ価格500,000円を超えた分の2分の1(最高150,000円)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 補助交付金額 8,179,000円 保留頭数 215頭  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 補助交付金額 6,520千円 保留頭数 134頭  対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 肉用牛農家 <補助金交付先> 始良中央家畜市場にて郡保留牛、高育種価候補牛を導入・保留した農家 <補助対象活動> 始良中央家畜市場での郡保留牛、高育種価候補牛を導入または保留  意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 優良素牛を確保し経営の安定化  結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。	⇒	名称	単位				
		ア 優良牛保留頭数	頭				
		イ					
		ウ					
		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位		
⇒		ア 肉用牛農家	戸				
		イ					
		ウ					
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位				
⇒		ア 年度毎優良牛保留頭数	頭				
		イ					
		ウ					
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位				
⇒		ア 認定農業者数	戸				
		イ					
		ウ					

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	6,085	8,383	8,179	6,520	
		事業費計(A)	千円	6,085	8,383	8,179	6,520	
活動指標		ア 頭	157	187	215	134		
		イ						
		ウ						
対象指標		ア 戸	981	933	850	827		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 頭	8,010	8,044	8,203	8,250		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
始良中央家畜市場の子牛せり市に上場される郡保留牛又は高育種価候補牛の郡外県外への流出を防ぎ、市内に優良素牛の確保を行う。また、改良増殖を行い、生産率の向上を図り主産地化を目指すために、事業を導入する。平成18年4月事業開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
毎年、優良素牛が市内に保留され、優秀な子牛生産、価格高の販売により、経営の安定に繋がっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
郡保留牛や高育種価候補牛を優良な素牛を導入できることで、今後も引き続き事業を継続してほしい。	

事務事業名	家畜導入及び保留補助事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	肉用牛経営の安定向上を図るため、優良肉用牛を保留・導入する農家に対して補助金を交付することは、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	始良中央家畜市場の子牛せり市に上場される郡保留牛又は高育種価候補牛の郡外県外流出を防ぐため、又、優良素牛の確保で改良増殖を行い、生産率の向上を図るための補助金であり妥当である	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	肉用牛農家が対象、意図は優良素牛を確保し経営の安定化であって適切である	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	平成21年度から事業の事業対象牛の認定基準等が変わることから、市内に優良な素牛の明確化が図られることによって、成果向上が見込まれる。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	優良素牛の確保が困難になり、郡外県外流出が懸念される。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	畜産農家の生産意欲、所得低下が懸念され、優良素牛の確保が困難になり、県内外への流出が予想されることより削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	平成20年度中に要綱改正を行い、事業に係る職員の事務を改善した。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	肉用牛農家全体が利用できる制度であることより公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	外因の改正ではあるが、保持対象牛の絞込みが行われ、今後事業成果が向上すると見込まれる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし
--



No.	520-361	事務事業名	畜産団体運営支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 4	83015	畜産団体育成補助事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
環境保全型農業の確立、コスト削減、作業の省力化、経営の安定と効率的経営を図るため各団体において、研修、講習会、視察研修等を実施するための活動への助成を行う。 国分地区肉用牛生産振興会 118,000円 福山地区肉用牛振興会 330,000円 溝辺町肉用牛改良組合 262,000円 霧島地区和牛改良組合 50,000円 霧島地区肥育牛部会 32,000円 霧島地区家畜商組合17,000円 霧島町肉用牛生産組合共同作業班 25,000円 横川町肉用牛振興会 165,000円 霧島市酪農振興会 119,000円 牧園町肉用牛部会 171,000円 牧園町家畜商組合 35,000円 隼人町肉用牛生産振興組合 72,000円							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 各地区の肉用牛振興会は、21年5月で合併、肥育牛振興会は21年4月に合併したことで、対象団体は3団体となる。  対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 畜産農家(肉用牛・酪農)  意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 環境保全型農業の確立、コスト削減、管理技術の向上、作業の省力化、経営の安定と効率的経営を図る。  結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 補助交付団体</td> <td>団体数</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 肉用牛・酪農家</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 事業参加農家</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ 研修回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</td> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 認定農業者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 補助交付団体	団体数	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 肉用牛・酪農家	戸	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 事業参加農家	戸	イ 研修回数	回	ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 補助交付団体	団体数																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 肉用牛・酪農家	戸																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 事業参加農家	戸																																								
イ 研修回数	回																																								
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 認定農業者数	戸																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,426	1,405	1,396	1,397	
	事業費計(A)	千円	1,426	1,405	1,396	1,397		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,426	1,405	1,396	1,397		
活動指標		ア 団体数	16	15	13	3		
対象指標		ア 戸	951	889	868	850		
成果指標		ア 戸	951	889	868	850		
		イ 回	45	45	45	45		
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 環境保全型農業の確立、コスト削減、管理技術の向上、作業の省力化、経営の安定と効率的経営を図るため各種の団体へ補助することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 関係する地域団体に全員の加入があることより、連携はもとより、環境保全型農業の確立、コスト削減、管理技術の向上、作業効率の省力化、経営の安定と効率的経営を図るさまざまな活動に参加し、畜産振興の高揚に繋がっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 各団体への補助により、さまざまな活動が実施できており、継続して実施してほしい。	

事務事業名	畜産団体運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・公平性は適切な事業である。類似団体の統合によるスリム化と事務事業の改善により効率性は改善できる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 振興会組織の統一(H21年度)による、事業内容等の見直し。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
組織の統一に伴い広範囲での取り組みとなるため、事業内容、開催場所の検討等の課題がある。

No.	520-370	事務事業名	家畜導入資金貸付事業(基金管理事業)				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	01	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	06	01	04	83077	基金繰出	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
畜産振興と経営の安定に資するために家畜導入資金を無利子で貸付けるための事業基金の運営を行う。 基金事業の貸付条件等は、評価シート畜産導入貸付事業に記載。 貸付を実行する基金の管理であって、基金の運用利子及び合併前の体制で行っていた事業収入等を財源とし、基金の積立を行っている。(財源は、運用利子を特定財源として計上し、事業収入は一般財源として扱うが、積立ての原資として扱っている。) 年度毎に事業ニーズをつかみ、平成19年度には農山漁村活性化対策基金を取り崩し、本基金の増額も図った。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (          年度 ~          年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 貸付け件数 94件 貸付け金額 41,225,712円  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 貸付け件数 70件 貸付け金額 30,000千円		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 貸付けを受けた農家件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 貸し付けた金額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 貸付けを受けた農家件数	件	イ 貸し付けた金額	千円	ウ	
名称	単位										
ア 貸付けを受けた農家件数	件										
イ 貸し付けた金額	千円										
ウ											
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 家畜を継続して飼養することが確実な満20歳以上の者。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 肉用牛・酪農家</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 肉用牛・酪農家	戸	イ		ウ	
名称	単位										
ア 肉用牛・酪農家	戸										
イ											
ウ											
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 優良素牛を確保し経営の安定化		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 貸付け頭数</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 貸付け頭数	頭	イ		ウ	
名称	単位										
ア 貸付け頭数	頭										
イ											
ウ											
結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 認定農業者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
名称	単位										
ア 認定農業者数	戸										
イ											
ウ											

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	159	243	97	28		
		一般財源	千円	5,236	50,304	701	350		
		事業費計(A)	千円	5,395	50,547	798	378		
活動指標		ア 件	60	42	50	50			
		イ 千円	41,515	27,051	41,226	30,000			
		ウ							
対象指標		ア 戸	951	889	845	802			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア 頭	86	56	94	70			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成17年度から、優良素牛の確保を行い経営の安定化を図るため開始された事業基金の管理を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 導入希望者が増えている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 事業を活用し規模拡大、優良素牛の確保が出来るので喜ばれている。(肉用牛農家・酪農家)	

事務事業名	家畜導入資金貸付事業(基金管理事業)	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 農協の貸付け制度	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状を維持する。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

No.	520-400	事務事業名	子牛出荷支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	01	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	06	01	04	83015	子牛出荷支援事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
肉用牛ヘルパー組合と協定を締結した農家へ補助金を交付することにより、畜産農家の高齢化・婦女子化が進む中で子牛出荷に伴う軽減を図る。牛の名義人で65歳以上の輸送手段のない者又は婦女子に運搬にかかる輸送費の一部を助成する。助成額は出荷する牛1頭1回に2,000円とする。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 肉用牛ヘルパー組合に加入している運搬者に交付する。 運搬件数 1,167件 交付金額 2,334千円 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 肉用牛ヘルパー組合に加入している運搬者に交付する。 運搬件数 1,200件 交付金額 2,400千円 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 牛の名義人で65歳以上の輸送手段のない者又は婦女子 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 畜産振興のため、輸送手段を持たない、高齢者や婦女子に、畜産経営の維持を図る。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		名称 単位 ア ヘルパー組合への交付件数 件 イ ヘルパー組合への交付金額 円 ウ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 65歳以上の農家と婦女子 戸 イ ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 運搬頭数 頭 イ ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 認定農業者数 戸 イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	2,450	2,300	2,334	2,400			
	事業費計(A)	千円	2,450	2,300	2,334	2,400			
活動指標	ア	件	1,255	1,150	1,167	1,200			
	イ	円	2,450	2,300	2,334	2,400			
	ウ								
対象指標	ア	戸	651	622	622	622			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	頭	1,255	1,150	1,167	1,200			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	戸	300	313	323	321			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 輸送手段を持たない、高齢者や婦女子に助成することで活力ある畜産経営の維持を図る。18年4月開始	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 高齢者や婦女子の方々が、ヘルパー組合の活用により、子牛出荷に係る運搬車や労力の面で、継続して畜産経営に取り組むことが出来るので喜ばれている。	

事務事業名	子牛出荷支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷		
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状を維持する。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)   (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	520-410	事務事業名	畜産基盤再編総合整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 4	83095	畜産基盤再編総合整備事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
飼料生産基盤の整備と農業用施設整備を一体的に実施することにより、新たな畜産生産地の形成に地域ぐるみで取り組み飼料生産基盤に立脚した担い手の育成を図る。 事業主体は(財)鹿児島県地域振興公社 事業内容は、飼料畑造成、畜舎整備、堆肥舎整備、農機具導入 事業費の内訳 国50% 県22.5%						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (H 19 年度 ~ H 23 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 畜舎整備3棟、飼料畑造成改良1.38ha、家畜排泄物処理施設1箇所  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 畜舎整備3棟、飼料畑造成改良2.86ha、鳥獣害防止施設整備1,481m、家畜排泄物処理施設2箇所、飼料庫整備1棟、農機具導入4台  対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 低未利用地造成による飼料畑確保を行い、自給率の向上を図る農家。(造成面積0.3ha以上)  意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 低未利用地等が造成・整備による飼料基盤の拡大や施設の整備を実施することにより、自給飼料を活用した安心・安全な畜産物の供給、飼料自給率の向上、生産コストとの低減を図る。  結果(どんな結果に結び付けるのか) 経営体質が強化される。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 負担金額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>イ (財)鹿児島県地域振興公社の事業費</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>ウ 事業対象農家</td> <td>件</td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 畜産農家(肉用牛・酪農)</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 事業達成率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 認定農業者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 負担金額	千円	イ (財)鹿児島県地域振興公社の事業費	千円	ウ 事業対象農家	件	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 畜産農家(肉用牛・酪農)	戸	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 事業達成率	%	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 負担金額	千円																																								
イ (財)鹿児島県地域振興公社の事業費	千円																																								
ウ 事業対象農家	件																																								
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 畜産農家(肉用牛・酪農)	戸																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 事業達成率	%																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 認定農業者数	戸																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)				
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	190	272	435			
		地方債	千円						
		その他	千円	10,545	30,750	47,867			
	一般財源	千円		273	435				
	事業費計(A)	千円	10,735	31,295	48,737				
人件費	正規職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間							
トータルコスト(A)+(B)		千円	10,735	31,295	48,737				
活動指標	ア	千円	10,545	30,750	47,867				
	イ	千円	27,486	79,642	144,966				
	ウ	件	6	5	5				
対象指標	ア	戸	933	871	827				
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	7.20	28.20	56.50				
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	戸	313	314	321				
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
畜産経営体の規模拡大が進展するなか、自給飼料を活用した安心・安全な畜産物の供給、飼料自給率の向上、生産コストの低減を図ることが必要となり、低未利用地等の造成・整備による飼料基盤の拡大や施設の整備を実施する。平成19~23年度	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
19年度からの事業開始である。霧島市、財団法人鹿児島県地域振興公社、事業実施者との三者契約となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業実施者から、19年度から始まった事業が計画に従い実施、整備されていくので有難いとの声が上がっている。	

事務事業名	畜産基盤再編総合整備事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 低未利用地等を造成・整備し、自給飼料を活用した安心・安全な畜産物の供給、飼料自給率の向上、生産コストの低減等を目指すことは、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 国・県が採択して実施する事業であることから妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 採択時に対象が適切かは国、県が判断されている。意図は生産基盤に立脚した担い手の育成であるため適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業終了年度が23年度となっていることより向上の余地はある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 国の事業への影響がある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 国・県の補助事業のため事業費の削減はできない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 事務処理手続き等を見直すことができれば、業務時間については削減できる。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 国が定める受給者負担であり、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・有効性・公平性は適切な事業である。補助金事務手続きの改善ができれば、さらに効率をあげる事ができる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)   (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 補助金事務手続きの改善が必要																						
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
事業の効率性を高めるためには、市の補助金申請から支出に至るまでの事務手続きの改善が必要である。



No.	520-420	事務事業名	畜産経営活性化資金利子補給事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	0 1	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 6	0 1	0 4	83090	畜産経営活性化資金利子補給事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
大家畜経営活性化資金利子補給2件 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱に基づき借受者に対して利子補給を行い農家の資金調達を容易にする。 平成17年度～24年度まで 隼人町で畜産経営を営む2件の農家。累計額20～24年度45,712円 国県の事業に則した事業を行うもので、を市は0.12%を負担する義務がある。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H 17 年度 ~ H 24 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と内容は同じ 金額15,462円		ア	利子補給額
			円
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
平成20年度と同様 金額12,282円		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
交付者 肉用牛農家		名称	
対象 大家畜経営活性化資金の借入に係る利子		単位	
		ア	肉用牛農家
			戸
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資金の融資を受けやすくするため、利子の一部を補助。		名称	
		単位	
		ア	融資農家
			戸
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
経営体質が強化される。		名称	
		単位	
		ア	認定農業者数
			戸

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	22	19	16	13	
事業費計(A)		千円	22	19	16	13		
活動指標		ア 円	21,699	18,560	15,462	12,282		
対象指標		ア 戸	981	933	871	827		
成果指標		ア 戸	2	2	2	2		
上位成果指標		ア 戸	300	313	323	321		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国県の制度の事業実施に伴い17年度より利子補給を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	畜産経営活性化資金利子補給事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資金を融資(利子補給)することにより、農業経営の安定が図られており、政策の「活力ある産業のまちづくり」に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 農業の生産力の維持増進や、農業経営の改善等に必要な資金を融資(利子補給)することにより、農業経営の安定が図られているので妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 市内の肉用牛農家であれば事業を実施できることより、対象としては適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 補助目低異常の成果向上の余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 融資機関との契約等、国県の制度上利子補給を廃止することは出来ない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 融資機関との契約で貸付金に対しての利子補給を実施していることより削減できない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 国・県の制度に関連した事業であり、業務の削減は出来ない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 国・県・市・借受者ともそれぞれ業務の分担がされており公平・公正である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業で現状を維持する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

No.	520-440	事務事業名	乳用牛優良精液導入事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	01	農・林・水産業の振興				所属G(係)	畜産グループ
	基本事業名	01	農林業経営体への支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	06	01	04	83015	乳用牛優良精液導入事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
優良乳用牛の確保及び改良増殖を図るため、優良精液を導入し、優良雌牛造成を積極的に行う酪農家に対し、予算の範囲内で補助を行う。 補助金算定基準： 精液料金4,000円未満は対象外とする。 補助金頭数は年間150頭とし、生産牛1頭当たり2,000円とする。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 8 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																					
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																				
20年度実績(20年度に行った主な活動) 酪農家に実施 精液導入農家件数 14戸 予算執行金額 300,000円	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 補助を導入した酪農家</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 補助を導入した酪農家	戸	イ		ウ													
名称	単位																				
ア 補助を導入した酪農家	戸																				
イ																					
ウ																					
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 事業概要と同様 精液導入件数 18戸 予算執行金額 300,000円	⇒																				
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 酪農家	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 酪農家</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 酪農家	戸	イ		ウ											
対象指標(対象の大きさを表す指標)																					
名称	単位																				
ア 酪農家	戸																				
イ																					
ウ																					
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 優良乳用牛の改善増殖を図り、優秀な雌牛造成を行うことで優良な乳用牛を確保してもらう。	⇒																				
結果(どんな結果に結び付けるのか) 体質が強化される	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 実施頭数</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 認定農業者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 実施頭数	頭	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 認定農業者数	戸	イ		ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																					
名称	単位																				
ア 実施頭数	頭																				
イ																					
ウ																					
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																					
名称	単位																				
ア 認定農業者数	戸																				
イ																					
ウ																					

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	165	226	300	300		
	事業費計(A)	千円	165	226	300	300			
活動指標	ア	戸	6	14	14	18			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	戸	8	18	18	18			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	頭	65	113	150	150			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	戸	300	313	323	321			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 生乳価格が低迷する厳しい環境の中で、平成18年度から乳用牛の改良増殖を図り乳量増、個体強化等を行うため優良精液を導入することとなった。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 生乳価格が低迷する中で、生産者を取り巻く状況は石油や飼料の高騰により、コストが上がっており厳しい現状にある。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 乳用牛の改良増殖が図られ乳量増、個体強化等に繋がっており、今後も事業を継続の要望が畜産農家からある。

事務事業名	乳用牛優良精液導入事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷		
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)   (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	520-490	事務事業名	農業機械銀行運営支援事業				所属部	農林水産部		
							所属課	農政畜産課		
政策体系	政策名	0	3	活力ある産業のまちづくり			課長名	富永 克義		
	施策名	0	1	農・林・水産業の振興			所属G(係)	農政グループ		
	基本事業名	0	3	集落営農の推進			電話番号	45-5111		
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	市補助金交付要綱	
		一般	0	6	0	1	0	3	82045	農業振興助成事業(市単独)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間		
主として作業用農機具にかかるコストを抑制し農業経営の安定化・農業機械の効率的な利用を図ることを目的に設立・運営されている各農業機械銀行等の組織の運営に対し、補助金を交付する。 (対象) 霧島市農業機械銀行・牧園地区農業管理センター・横川農業機械士会 (活動) 農作業(耕起・代かき・収穫)受託 (補助金額) 平成19年度323千円 平成20年度275千円 平成21年度248千円							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 59 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事業概要と同様		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様		ア 補助金交付団体数	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
農家(オペレーター) <補助金交付先> 霧島市農業機械銀行・牧園地区農業管理センター・横川農業機械士会 <補助対象活動> 受託事業(耕起・代かき・収穫)人材確保・機械の保有		名称	
		単位	
		ア 農家(オペレーター)数	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 低コスト化(受託が増加することにより農業機械の購入などコストが軽減される)受託件数を増加させる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 現年度受託件数/前年度受託件数	
		イ 作業委託面積	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 集団化による営農規模の維持・拡大する。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 集落営農数	
		イ 集落営面積	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	401	323	275	248		
	事業費計(A)	千円	401	323	275	248			
活動指標		ア 団体	3	3	2	2			
活動指標		イ							
活動指標		ウ							
対象指標		ア 戸	34	35	35	42			
対象指標		イ							
対象指標		ウ							
成果指標		ア %	84	100	100	105			
成果指標		イ ha	185	186	186	200			
成果指標		ウ							
上位成果指標		ア 団体	4	4	4	9			
上位成果指標		イ ha	22.3	22.3	22.3	102			
上位成果指標		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 国分農業機械銀行は昭和59年、牧園地区農業管理センターは平成3年、横川農業機械士会は昭和62年に発足し同時期にそれぞれ組織育成補助を開始したと思われる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 国分農業機械銀行については大規模耕作者への集約等の理由から受託面積は減少傾向にある。 牧園地区農業管理センターについては高齢化等により受託面積が増加傾向にある。なお横川機械士会は、特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 事務局をもつJAでは、機械の老朽化に伴い修理代等がかさんでいるなどの声がある。	

事務事業名	農業機械銀行運営支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 機械銀行は高齢等で耕作できなくなった方や農機具を持たない方などの依頼を受け農作業を受託しているが、これらの活動は農政の重要な課題である集団化による営農規模の維持・拡大に寄与していることから、結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 高齢者や小規模農家及び土地持ち非農家など幅広く市民の農作業を請け負うことから、農業機械銀行の支援は公共で行うことが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 農作業を受託する役割を担っているのは農業機械銀行であるため対象については妥当である。市内農業者の機械作業を受託することで、小規模農家の経営安定に資することから意図についても妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 運営等の見直しにより受託体制を向上させる余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 農業機械銀行の円滑な運営が阻害され受託料金の値上げ等により委託者へも影響がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 運営費の繰越金があるため、事業内容や現況把握を行い、判断する。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助交付事務のみであるため、削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 機械の運搬等の事由により他地区での作業受託は行っていないが、公益性を高めるには地区外からの受託依頼にも対応できる体制も検討する余地がある。 平成20年度に改正を行い、市内受益の均衡を図るため、すでに改善が行なわれた。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農業機械銀行の運営は、受委託作業料等により適切に運営されており、継続的な補助金支給は検討すべきであるが、高額な機械の更新等、必要に応じた支援策を検討すべきである。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 運営方針の再検討を行い、繰越金の使途など検討することで事業費を削減することができる。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 旧市町を活動範囲としてそれぞれ設立されているため、機械の所有台数やオペレーターの人数が不足しており、合併後直ちに活動を市内全域に広げることが困難である。組織を一本化し、各地域に支部を設置する体制が取れば、公平な機械利用及び広く小規模農家の委託作業に対応できる。

No.	520-510	事務事業名	農業後継者等育成就農支援事業					所 属 部	農林水産部	
			所 属 課	農政畜産課						
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり					課 長 名	富永 克義	
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興					所 属 G ( 係 )	農政グループ	
	基本事業名	0 4	農林業の新規就労(就農)の支援					電 話 番 号	45-5111	
予算科目	会計	一般	0 6	0 1	0 3	82045	事業名	農業振興助成(市単独)	法令根拠	農業後継者等育成就農支援事業助成金交付規則

**事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)**

新規就農の促進や定着化を図るとともに、優れた農業後継者を育成し、市農業の振興に寄与することを目的に、受入農家と市で1/2ずつ負担し、助成金を交付する。  
 【交付対象】市の交付規則に基づき、就農計画を認定された認定就農者(新規参入者、新規学卒就農者、Uターン者等、農業後継者)  
 (交付条件) 本市に居住し、農業以外の他産業並みの農業所得を確保し得る中核的農業専従者となり得ると見込まれる者 農業者年金に加入資格を有する者(あつては、加入する者 就農時の年齢が55歳未満の者で、かつ、就農意欲が高いと市長が認めるもの)

**事業期間**

単年度のみ  
 単年度繰返  
 ↳ ( H 14 年度 ~ )  
 期間限定複数年度  
 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

**1 現状把握の部( DO )**

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b>													
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
20年度実績(20年度に行った主な活動) 研修助成金の交付	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>新規就農研修生</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>助成金交付金額</td><td>円</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	新規就農研修生	人	イ	助成金交付金額	円	ウ		
名称		単位											
ア	新規就農研修生	人											
イ	助成金交付金額	円											
ウ													
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 研修助成金の交付													
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 新規就農希望者(新規就農相談者)	<table border="1"> <tr><th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>新規就農希望者数(相談者数)</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	ア	新規就農希望者数(相談者数)	人	イ			ウ		
対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位											
ア	新規就農希望者数(相談者数)	人											
イ													
ウ													
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業技術の習得等により、優れた農業後継者を育成し、新規就農の定着化を図る。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>認定就農者数 / 新規就農希望者数</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位	ア	認定就農者数 / 新規就農希望者数	%	イ			ウ		
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位											
ア	認定就農者数 / 新規就農希望者数	%											
イ													
ウ													
結果(どんな結果に結び付けるのか) 新規就農者を育成確保する。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>新規就農者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位	ア	新規就農者数	人	イ			ウ		
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位											
ア	新規就農者数	人											
イ													
ウ													

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投資量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
			都道府県支出金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円		630	1,395	1,395	
			一般財源	千円	0	630	1,395	1,395	
			事業費計(A)	千円	0	1,260	2,790	2,790	
活動指標		ア 人	0	2	3	3			
		イ 円	0	1,260	2,790	2,790			
対象指標		ア 人	7	9	12	15			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア %	0	0	17	20			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア 人	2	10	4	6			
		イ							
		ウ							

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
 新規就農者を支援するために、旧横川町の事業を引継ぎ(平成14年度~)、霧島市単独事業として平成18年度より新たにスタートした。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
 農業従事者の高齢化・後継者不足により、農業生産の脆弱化が進行している。国の方針において、農業担い手の確保・育成が重要視されている。5年前と比較して、年間の新規就農相談の件数が増加している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 関係機関から「研修助成金については、受入農家との折半であるため、希望する農家への交渉が難しく、受入可能な農家が限定される。」という意見がある。

事務事業名	農業後継者等育成就農支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 営農開始時に必要な技術・能力を習得する研修を行う者に対して助成金を交付することで、農業の新規就労(就農)の確保が行えることから政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 農業開始時に必要な技術・能力を習得することで、中核的農業者になり得る新規就労(就農)を育成し、本市農業・農村の活性化に寄与することから妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象は就農希望者であって、意図は優れた農業後継者の確保であるため、対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 現行で引き続き行うだけであれば成果向上の余地はないが、受け入れ農家を増やすこと等で、成果を向上させることができる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 本市には、農業公社の設置がなく、新規就農者が研修を行う機会が本事業以外にない。技術・能力習得がされない状態での就農は、経営が不安定となる可能性があり、新規就農の定着化が図れない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似する事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 収入のない研修期間中の助成金であり、最小限の生活資金を交付している。事業費を削減し、研修受入農家の負担が増えれば、増加させるべき受入農家が減少する。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 年齢制限を設けているが、就農意欲のある方の全てが対象であって、受益の公平性は保たれている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	受入農家の増加を図ることで成果向上を図るべき事業である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 市における受入体制の検討(受入農家の増加・農業公社設立等)																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 受入農家は負担増労働力が増加する代わりに負担増となること、併せて年間を通した研修ができるかどうかによって受入農家となれるかが決定されるので、増やすことは困難な状況である。 新規就農者を育成することを目的とした農業公社設立事業への移行を検討しながら、本事業の展開の結果を見極める。
--



No.	520-540	事務事業名	各種農業関連施設管理事業				所属部	農林水産部
						所属課	農政畜産課	
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 5	地産地消の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 2	農業関連	農業関連施設管理運営事業		
	一般	0 8	1 0	8 5	指定管理	〃		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
施設管理を行う嘱託賃金等の予算(主な事務内容:賃金・消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕費・通信運搬費・保険料等の支払やボイラー点検等の委託契約及び支払)を適正に執行し、市民その他の利用者が使用しやすい施設の管理を行うことで、さらに多くの市民等に利用してもらい、地元の農産物を利用した加工技術の普及を図っている。 直接管理施設 10施設。 国分営農センター等(4施設)及び丸岡公園(農業交流センター)については指定管理者と管理協定を結ぶ。また、備品等の設置については、状況を把握し随時購入する。(平成22年度) 対象施設:【溝辺営農センター】(防災アコーデオンカーテン取替、真空包装機、仕込み攪拌機)、【国分営農研修センター】(蒸気ボイラー入替工事)、【福山婦人の家】(洗瓶機)、【霧島多目的研修センター】(製麹機)							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 53 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 予算の執行(賃金・光熱水費・修繕料・委託料等の支払事務) 危険箇所等の確認を行い、適切な修繕した。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 予算執行額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 予算執行額	千円	イ		ウ	
名称	単位										
ア 予算執行額	千円										
イ											
ウ											
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 施設数</td> <td>施設</td> </tr> <tr> <td>イ 市内住民</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 施設数	施設	イ 市内住民	人	ウ	
名称	単位										
ア 施設数	施設										
イ 市内住民	人										
ウ											
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 施設 市民		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 施設の利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 施設利用に関する苦情件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 施設の利用者数	人	イ 施設利用に関する苦情件数	件	ウ	
名称	単位										
ア 施設の利用者数	人										
イ 施設利用に関する苦情件数	件										
ウ											
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利用者が不便なく使える施設管理		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 学校給食への供給率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 地元産の農林産物を積極的に購入している市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 学校給食への供給率	%	イ 地元産の農林産物を積極的に購入している市民の割合	%	ウ	
名称	単位										
ア 学校給食への供給率	%										
イ 地元産の農林産物を積極的に購入している市民の割合	%										
ウ											
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安心・安全な農林産物を地域に供給する。											

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	3,753	4,230	4,646	5,014		
		一般財源	千円	28,986	29,691	36,013	31,137		
	事業費計(A)	千円	32,739	33,921	40,659	36,151			
活動指標	ア	千円	32,739	33,921	40,659	36,151			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	施設	15	15	15	15			
	イ	人	127,615	127,773	128,128	128,383			
	ウ								
成果指標	ア	人	25,371	25,789	38,368	38,500			
	イ	件	0	0	0	0			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	2.2	2.3	2.3	4.0			
	イ	%	68.2	59.9	74.3	71.0			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 地元の農産物を利用した加工食品の開発をすることにより、農業所得の向上を図るため。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 施設の利用者が農業関係者だけでなく、一般市民の利用も増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特に無し	

事務事業名	各種農業関連施設管理事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 市の施策である「食農教育」の普及にも重要な役割を果たす施設の管理であり、適切な管理運営を行うことは地産地消の推進につながるため政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市の施設の管理であるため、市が管理することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を施設とし、意図が適切な施設管理であることから、それぞれ妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 施設の維持管理費であるこの事業は、嘱託職員(管理人)の意識改革をすることで、より利用しやすい施設にできるため、現在よりも利用者数が増える余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 行政で策定した食育計画等を実践するにあたり農産物加工施設は必要不可欠である。事務事業を廃止・休止した場合、同様の加工施設は他になく行政施策の推進にも影響が及ぶ可能性は高い。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 施設及び施設内の備品等が老朽化しているに伴い、経費の増加が見込まれるなど経費削減の余地はない。しかし、施設管理人の意識改革を促すことで電気代等の節減を図っていくことは可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 予算執行事務であり、削減の余地がない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 利用料が統一されていない為、受益者への負担が公平でない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・効率性は適切な事業である。管理者の意識改革や各施設の施設利用料等の見直し、効率性・不公平是正を図る必要がある。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 各関係機関と連携の下、施設利用率の向上を図ると共に施設利用時の経費削減に努める。使用料改正を行ない、公平性の確保を行う。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 管理指導者の指導方法で利用者が増え、管理方法改善を行うことで光熱水費等の削減につながるため、管理者の研修会等を行い意識改善を行う。財政主導で使用料改正を現時点では実施しているが、進捗が遅いため調整が行われている状況といえない。しかし、平成21年度中に使用料改定を行い、公平性の確保案を示すことができそうである。																			

No.	520-550	事務事業名	市民農園運営事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政グループ
	基本事業名	0 5	地産地消の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	法令根拠	市民農園整備促進法 特定農地貸付に関する農地法の特例に関する法律	
	一般	0 6	0 1	0 3	82090			事業名

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
農業者以外の市民が土とふれあい、農業・食糧に対する理解と興味を深め、さらには親子のコミュニケーションの場、市民のレクリエーションの機会を提供すること、地元で生産された安心・安全な食材への関心を深めていただくことを目的とし、現在、市内6カ所に市民農園を設置している。 具体的な手順としては、土地所有者から年間20,000円/107-ルで農地を借上げ、1区画約25㎡の区画を作り、貸付を希望する市民へ無料で貸し出している。貸し出し期間は2年間とし、以降2年ごとに更新手続きを行い、貸し出しの申し込みは農政畜産課窓口で受け付けている。 職員の事務としては、利用申込み受付・貸出事務及び空き区画等の整備である。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 57 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 6農園について、賃貸借契約を締結し、利用希望のある市民へ農園を貸し出しを行い、農地利用者に対し栽培講習会を開催し技術向上を図った。空き区画は、病害虫の発生要因とならないように雑草の処理等を行った。		ア	利用者数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同様		イ	整地面積
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市民で農園利用を希望する農業者以外の者		ウ	講習会開催数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 農業に対する理解を深め、自家消費用野菜を生産することで地産地消の意識を高める。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	市民
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安心・安全な農林水産物を地域に供給する。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	安心・安全な食材への意識が向上した者/利用者数
		イ	利用区画数/整備区画数
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	地元産の農林産物を積極的に購入している市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	71	71	71	71		
		事業費計(A)	千円	71	71	71	71		
活動指標	ア	人	119	120	120	120			
	イ	㎡	895	850	850	850			
	ウ	回	0	2	2	2			
対象指標	ア	人	127,615	127,280	128,128	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	-	68.6	69.5	70.0			
	イ	%	82.9	84.6	87.0	87.5			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	68.2	59.9	74.3	71.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
「農業者以外でも気軽に利用できる農園を開設してほしい。」との市民の要望があり、旧国分市において昭和57年頃から市民農園を開設している。当初2農園を開設していたが、利用希望が多かったため、徐々に開園数を増やして、現在の6農園の開設に至っている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
開設当初に比べて、特定農地貸付事業や市民農園整備促進法が制定されたことで、市町村の農園整備体制が整い、全国的に多くの市民農園が開設されている。霧島市においては、開設しているほとんどの農園が利用状況が高くなっており、新たな農園の開設も検討する必要がある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
利用希望者も多く、継続希望や区画の増を希望する市民もいる。	

事務事業名	市民農園運営事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 高齢者や農業者以外の方が、自家消費用野菜を生産することで、農業への理解と地産地消の意識が高まり、安心・安全な地元産の農産物の供給に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 本市においては、民間での農園開設がないため、市が実施するのが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 農業者以外の全ての市民を対象としているので、対象は妥当。農業者以外の方の農業への理解促進を目的とし、法の趣旨と合致しているため、意図は妥当。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 栽培講習会や品評会などの開催により、利用者の栽培技術の向上や交流の場を提供することにより、成果向上の余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 都市部においては、農地が少なく、高齢者や農業者以外の方が気軽に土や自然に親しむ機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市民農園がほかにない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は借地料(必要最低限)のみであり、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 予算執行及び規則等で決められた作業を実施するのみであるため削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 国分地区限定の開設となっているため不公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的妥当性や有効性から、本事務事業は継続していく必要があるが、事業効果を増大させるために「おじゃんせ霧島移住定住推進室」と連携し、宿泊型の体験農園や一坪農園の検討を進める必要がある。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 宿泊型の体験農園や一坪農園の開設を検討。利用率の低い農園の改善又は、廃園。利用希望の多い集人地区へも農園を開設。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 宿泊型の農園開設には、宿泊施設の整備や農園の設備(水道や農機具)を整える必要があり、投資が必要となるために費用対効果を考えながら開設の検討を進めていく必要がある。 新たに集人地区に農園を開設した場合、農園の管理に要する職員の時間が増え、新規開設のために農地の借り上げが必要となる。 利用率が悪い農園については、農園の利用を希望する方が存在しており廃園は難しいため、利用率を上げるよう周知を行う必要がある。																			

No.	520-590	事務事業名	稼原大茶樹維持管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 6	ブランド化の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82090	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
昭和12年に国の天然記念物に指定された大茶樹が過去にあり、その枝から植栽された二代目大茶樹を財産として、霧島市が管理している。 関係団体の協力をもらいながら「霧島茶」としてのPRするものである。 [内容]大茶樹周辺の市有地についてシルバー人材センターへ除草作業等を委託する。 [茶樹の活用状況]茶摘、霧島神宮への茶奉納 [土地の活用状況] 亀馬ハネムーンウォーク時点での茶接待及び茶販売所に使用している。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( 不明 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) ・除草作業 5回 ・大茶樹の茶摘み・秋祭りの実施 2回 ・霧島神宮への茶奉納 1回		ア	除草作業
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年同様		イ	茶摘採及び奉納
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等大茶樹		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 除草作業を行いPRに活用できるようにする。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	茶樹
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 競争力を強化する。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	大茶樹宣伝活動回数
		イ	除草作業回数
		ウ	来場者数
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	荒茶生産量
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	50	50	50	50		
		事業費計(A)	千円	50	50	50	50		
活動指標	ア	回	5	5	5	5			
	イ	回	1	1	1				
	ウ								
対象指標	ア	本	2	2	2	2			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	回	2	5	3	5			
	イ	回	5	5	5	5			
	ウ	人	300	350	450	600			
上位成果指標	ア	t	1,580	1,758	1,763	1,624			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和12年に国の天然記念物に指定された大茶樹が牧園地区に当時あり、その枝から植栽された二代目大茶樹は昭和30年代から旧牧園町で、現在は霧島市の財産として管理している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成18年度から霧島茶銘柄確立を図るため大茶樹茶摘みイベントを開催し県内を始め全国に向けてPRを進めており年々報道関係者も関心が高まっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
イベント・宣伝の強化がされ注目されており観光客も来場することから、大茶樹保存会会員等からは誘導看板及びアクセス道路の整備について要望が寄せられている。	

事務事業名	稼原大茶樹維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 霧島産茶のPRに活用されることによって、競争力の強化され政策体系に結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市有財産を管理し、霧島茶のPRにも活用されることから妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は大茶樹であり、意図がPRに活用できることとしているので、適切な設定である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 他のイベント等とのタイアップができれば、宣伝回数等を増加させることができる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市の財産管理上、宣伝活動を行う上でも廃止・休止できない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似の手段が無い <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 管理費については除草等維持管理に必要な最小限の金額である。除草以外の管理については、大茶樹保存会などのボランティアの協力により管理しているためこれ以上の削減の余地は無い。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 委託事業の現場確認、予算執行業務のみであるため、削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 施設については市民等が使える環境にあって、市有の施設を維持管理することについては不公平は生じない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的・効率・公平性は適切な事業である、また有効性については和気神社のふじ祭り等とリンクした公開や日常的に利用できる公園も要検討。全国お茶まつり視察コースのメインとして位置付け、PRを図る必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 他のイベントなどに合わせ、PR活動を行うよう事業調整を行う。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 イベント時期を修正することについては、茶の収穫時期等と関係があるため、調整できない可能性がある。  
 茶摘採以外で使用することは可能である。

No.	520-600	事務事業名	全国茶品評会出品支援事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 6	ブランド化の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82045	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
全国茶品評会への出品に対する補助事業である。 出品実績に応じ1点当りの定額を補助(煎茶30kgの部:80,000円 その他の部:30,000円)する。 宇治や知覧・八女・静岡等の産地は、毎年開催される全国茶品評会の各部門で第1位を数多く獲得しており、そのため茶関係者はもとより多くの消費者へ一流産地であることが認識されているので、知名度向上のため霧島市茶業振興会会員は採算を考慮せず出品茶を製造しており、市はその取組みを行う振興会会員の出品茶製造経費の一部を補助することで支援し、霧島茶のブランド化を図っていく。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H 19 年度 ~ H 23 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
全国茶品評会への出品点数 15件		ア	全国茶品評会への出品点数
			点
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
全国茶品評会への出品点数 21件		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市茶業振興会会員		名称	
		単位	
		ア	霧島市茶業振興会会員
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
良質茶を出品させる。		名称	
		単位	
		ア	全国茶品評会入賞点数
			点
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
競争力を強化する。		名称	
		単位	
		ア	荒茶生産量
			t

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		710	850	1,693		
	事業費計(A)	千円	0	710	850	1,693			
活動指標		ア	点	12	15	21			
対象指標		ア	人	221	221	221			
成果指標		ア	点	8	7	10			
上位成果指標		ア	t	1,580	1,758	1,763	1,624		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
宇治や知覧・八女・静岡等の産地は、毎年開催される全国茶品評会の各部門で第1位を数多く獲得しており、そのため茶関係者はもとより多くの消費者へ一流産地であることが認識されているので、霧島茶の知名度向上及びブランド化のため平成19年度から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
ペットボトル茶の消費については、順調に推移しているものの主たるリーフ茶の消費量が全国的に低迷している。銘柄確立に向けて霧島市茶業振興会が設立され、全体的な事業として各支部会員理解のもとで全国茶まつりへの取り組みを開始した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	全国茶品評会出品支援事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 霧島茶をブランド化するための取り組みであり、政策体系に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 農産物のブランド化は市長マニフェストにも盛り込まれており、全国茶品評会で上位入賞を果たすことが霧島茶のブランド化が図られるため市が支援することは妥当と考える。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 霧島市の茶生産者全員が茶業振興会員あることから、対象は妥当である。また、ブランド化のためには技術力のある茶生産者が増える必要があることから意図も妥当。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業目的以上の成果向上余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 出品点数を多くすることでその産地の評価が上がり上位入賞も可能になる。休止した場合、生産農家の負担が増え出品点数が減少し上位入賞が困難となり、霧島茶のブランド化は図れなくなる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似の施策がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 出品点数が減少すると上位入賞は難しくなり霧島茶のブランド化は図れなくなる。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 予算執行等の事務のみであって、削減の余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 出品者は市茶業振興会会員であり受益機会は公平といえる。出品者も経費を負担しており、他の補助金とも公平性が保たれる。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			▲																				
	低下	▲	▲	▲																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								



No.	520-610	事務事業名	単独茶防霜施設整備事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 6	ブランド化の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82025	農業振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
国庫・県補助事業で整備出来ないほ場を市単独で整備し作業の効率化や凍害被害軽減を図り良質茶づくりを推進し所得向上を図る。 【補助実施対象】防霜ファンの設置 【補助交付対象者】霧島市茶業振興会員 【補助要件】国庫・県補助事業に該当しないほ場であって、霧島市茶業振興会委員が耕作している市外のほ場を含む。 【補助率】補助率1/3以内		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H 20 年度 ~ H 23 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市内防霜施設未設置ほ場、調査の実施 未設置申請面積22.6ha 実施面積2.2ha 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 茶農家 【交付対象】茶農家 【対象事業】防霜ファン等の施設整備 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 防霜ファンの設置による凍害被害軽減で良質茶づくりを図る。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 競争力を強化する。		名称 単位 ア 補助交付団体 団体 イ 補助対象防霜ファン設置数 台 ウ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 導入地区全体の茶栽培面積 ha イ ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 現年度栽培面積/過年度栽培面積 % イ 防霜ファン整備率(設置面積/栽培総面積) % ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 荒茶生産量 t イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	0	0	3,836	10,000		
	事業費計(A)	千円	0	0	3,836	10,000			
活動指標	ア 団体				6	10			
	イ 台				40	100			
	ウ								
対象指標	ア ha		464	473	480	490			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %				80	83			
	イ %				70	75			
	ウ								
上位成果指標	ア t		1,580	1,758	1,763	1,624			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成20年度から面積拡大をする茶農家が増加している反面、土地の集団化が困難な場合が多いため、国庫・県単で実施できないほ場を整備に茶生産者の所得所得向上を図るため開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
茶生産者は、茶の取引単価が下落していることから規模拡大を図り安定経営を目指し、また、市は霧島ブランド確立のために霧島茶のブランド化を図ろうとしている。併せて、全国茶まつりの誘致に成功したため、茶生産者の技術向上や品質向上の施策を検討している状況にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
生産者は、市が行う国庫の事業に該当しない部分の支援を喜んでいる。	

事務事業名	単独茶防霜施設整備事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 高品質の茶づくりは農産品のブランド化に結びつき競争力が強化されるため政策体系に結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 国県の補助事業等の趣旨を踏まえ、高品質の茶づくりのための環境を整えることは公共で推進する必要があると判断され妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 茶業農家(=茶業振興会委員)は市内住民のみであることから対象は妥当。意図は国県事業の趣旨から妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 事業目的及び成果を上げる以上に向上の余地はない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 整備率を現在確認中であるが、比較的整備率が上昇していないことから事業推進をすることとする。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ かがしま茶産地拡大チャレンジ事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 国県事業の対象要件とならない施設整備を対照している事業であるため連携できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業採択時点で事業計画に対し導入機械の性能・台数等が過大となっていないか市で精査するため事業費については削減の余地がない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 予算執行等の事務のみであって、削減の余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市の交付要件を満たせば基本的に実施は可能であることから受益機会に偏りは無いので公平である。費用負担についても、事業主体の応分負担があるため公正さも保たれている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって、現状維持とする。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								



事務事業名	グリーンツーリズム総合推進事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ グリーンツーリズムは市長のマニフェストにも盛り込まれており、観光客の誘致、定住促進、新規就農等の分野に影響を与える事業である。グリーンツーリズムに取り組む農家を育成することによって、農業体験受入農家数等が増加し、観光資源として利用してもらうことで本市の観光、農林水産業の活性化が図られる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 関係機関等が連携しグリーンツーリズムを推進していくことが必要であり、現段階では受入農家の育成に公共関与は必要である。しかし、民間が主体となり活動を行っていく必要があるため将来的には段階的に公共関与を減らしていくことが望ましい。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を農家とし、意図を受入農家数の増加としているため変更を要さず妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 行政主体のグリーンツーリズム推進を、協議会を中心とした民間主体に移行することで、活発な活動が行われることにより、新たな受入農家の確保や受入態勢の整備、そしてグリーンツーリズムの定着が図られる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 現段階では行政が中心となり、グリーンツーリズムの推進を行っているところでは否めず、活動が活発化していないこと示している。よって事務事業を廃止した場合でも事業の成果は上がらないが下がりにくい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ 霧島高原自然体験ツーリズム協議会 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 観光サイドで行っている霧島高原自然体験ツーリズム協議会と連携し、将来的には統合を目指すことで、本市の特性を活かした推進体制の確立を目指す必要がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 20年度には削減がなされた。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金交付事務であるため、その事務手続きに大きな変動がなければ削減する余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 協議会を中心に市内全域を対象とした活動を行っている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	類似事業との統合を行い効率化を図る必要がある																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
統合を目指す為に観光サイドとの連携を密にし、事業統合に向け活動を進める。																							

No.	520-660	事務事業名	牧園総合支所庁舎内茶樹維持管理事業				所属部	農林水産部
							所属課	農政畜産課
政策体系	政策名	0 7	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	富永 克義
	施策名	0 1	健全な財政運営の推進				所属G(係)	農政G
	基本事業名	0 2	新たな自主財源の確保				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 6	0 1	0 3	82090	農業振興費		

<b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b> 牧園総合支所庁舎の沿道に茶樹が3,000本程度が代表農産物である茶樹のPRのため植栽してあるので、管理・販売する事業である。 【事業詳細】茶樹の肥培管理及び摘採を茶業振興会牧園支部に委託を行う。 【利用方法】摘採し、加工・販売を行う。 【歳入の内訳】荒茶販売額－製茶に係る経費		<b>事業期間</b> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 4 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )
--	--	--

**1 現状把握の部(DO)**

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b> 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) ・一年間の管理作業・茶摘み ・製茶 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度同様 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 牧園総合支所内沿道茶 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 収穫した茶葉を加工・販売し管理経費に収入を充てる。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 新たに確保された自主財源の額		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 茶摘み</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 管理作業</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 茶販売量</td> <td>kg</td> </tr> </tbody> </table> <b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 沿道茶</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 販売額</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 市の歳入</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 茶摘み	回	イ 管理作業	回	ウ 茶販売量	kg	名称	単位	ア 沿道茶	箇所	イ		ウ		名称	単位	ア 販売額	千円	イ		ウ		名称	単位	ア 市の歳入	万円	イ		ウ	
名称	単位																																	
ア 茶摘み	回																																	
イ 管理作業	回																																	
ウ 茶販売量	kg																																	
名称	単位																																	
ア 沿道茶	箇所																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 販売額	千円																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 市の歳入	万円																																	
イ																																		
ウ																																		

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	320	300	300	300		
	事業費計(A)	千円	320	300	300	320			
活動指標	ア	回	1	1	1	1			
	イ	回	12	13	12	12			
	ウ	kg	40	40	38	20			
対象指標	ア	箇所	1	1	1	1			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	千円		20	131	80			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	万円	-	-	76	30			
	イ								
	ウ								

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b> この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成4年に旧牧園町庁舎建設・整備の際に、訪問者受入時に茶産地であることのPRや、小学生等を対象に茶摘み体験や各種イベントで利用するため植栽し、管理してきた。また収穫した茶葉は、加工したうえで町内の学校給食等でPRを兼ね茶葉は消費されてきた。 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併したことによって、管理形態は変更ないが、利用形態が変わっている。 当時町長がPR用に使用 現在、一般に販売 この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	
--	--

事務事業名	牧園総合支所庁舎内茶樹維持管理事業	所属部	農林水産部	所属課	農政畜産課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	財産管理を行うとともに、市の主要作目である茶のPRにもなることから結びついている			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市有財産を管理することが当初目的であって妥当である。				
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷			
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	植栽を対象として管理事業を行い、歳入確保を行うことは対象意図ともに適切である。				
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	販売価格等の見直しや販売額の上昇は期待できない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	沿道茶管理は財産管理の観点から休止できない。しかし、製茶は歳入確保の観点でしか必要ない。				
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷				
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷				
他に類似の手段がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷				
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	管理委託費については、すでに削減してきており削減はできない。			
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷			
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	委託事業の現場確認、予算執行業務のみであるため、削減余地はない。				
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	市有の施設であるので維持管理することについては不公平は生じない。また、歳入は施設管理に使用されるものであるので公平・公正であるとする。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事業であって現状維持とする。																											
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下								
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													